

Wii U電子説明書

1 安全に使用するために

電源のON/OFFと基本画面

2 電源のON/OFF

3 クイックスタート画面

4 Wii Uメニュー

5 HOMEボタンメニュー

6 Wiiメニュー

7 TVリモコン

ソフトで遊ぶ

8 Wii Uで遊べるソフト

9 ゲームの遊びかた

10 Miiスタジオ

11 Miiverse

12 ニンテンドーeショップ

13 インターネットブラウザー

14 Nintendo TVii

15 Wii U Chat

16 Nintendo×JOYSOUND Wii カラオケ U

17 フレンドリスト

18 おしらせリスト

19 毎日のきろく

20 ダウンロード管理

設定する

21 コントローラーの登録

22 本体設定

23 ユーザー設定

24 保護者による使用制限

こんなときは

25 WiiのデータをWii Uに引っ越す

26 Wii U同士で引っ越しする

27 Wii Uメニューにフォルダーを作成する

28 SDカードを使う

29 USB機器を使う

30 文字を入力する

31 AVアンプなどを接続する

困ったときは

32 Q&A

仕様

33 仕様一覧

34 Wii Uに対応しているWiiの周辺機器

35 権利表記(1)

36 権利表記(2)

この電子説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

特にWii Uメニューの (安全に使用するために)は、ご使用になる前に必ずお読みください。ここには、お客様の健康と安全のための大切な内容が書かれています。

ご使用になる方が小さなお子様の場合は、保護者の方がよく読んでご説明ください。

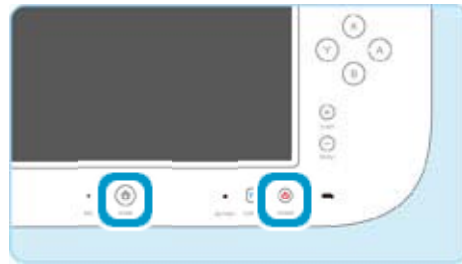
著作権などについて

- Wii Uで撮影・録音などをしたものは、個人で楽しむなど法律で認められた場合を除き、著作権者などの権利者に無断で利用できません。なお、実演、興業、展示物などは、個人で楽しむ目的でも、撮影・録音などが制限されている場合がありますのでご注意ください。また、他人を無断で撮影したり、他人の画像を無断で公表したりすると、肖像権やプライバシーの侵害になる場合がありますので、ご注意ください。
- Wii Uを利用して、犯罪行為や公序良俗に反する行為などを行わないでください。法令・条例に従い、責任を問われることがあります。
- Wii Uで画像・動画・音楽などを送信すると、送信先にてコピー・改変・再送信などをされる可能性があります。一度送信された画像・動画・音楽などを削除したり、利用を制限したりすることはできませんのでご注意ください。

電源をON/OFFするには、次の方法があります。

電源をONにする

Wii U GamePadの⏻または⏻を押すと、GamePadの電源がONになり、クイックスタート画面が表示されます。➡ 3



※ クイックスタート画面を利用するには、あらかじめ本体設定 ➡ 22 の「電源の設定」で、「電源OFF時の動作を設定する」と「クイックスタート画面の設定をする」をそれぞれ「使う」に設定しておく必要があります。

※ TVリモコン機能 ➡ 7 を設定している場合は、ⓧを押してTVリモコンの画面から本体の電源をONにすることもできます。

Wii U本体やWiiリモコンなどで電源をONにする

Wii U本体や、GamePad以外のコントローラー（Wiiリモコンなど）の⏻を押すと、本体の電源がONになります。ユーザー選択画面で、ユーザーを選んでください。Wii Uメニューが表示されます。➡ 4

※ クイックスタート画面は表示されません。

※ Wii U GamePad以外のコントローラー（Wiiリモコンなど）で電源をON/OFFするには、あらかじめWii U本体への登録が必要です。➡ 21

電源をOFFにする

GamePadの⏻を1秒間押してください。電源がOFFになると、本体の電源ランプが青色から赤色に変わり、GamePadの画面が消えます。

※ 電源をOFFにしたあと、すぐに電源をONにしないでください。故障の原因となります。電源ランプが赤色になったあと、必ず4秒以上待ってから、電源をONにしてください。

※ 本体やWiiリモコンなどの⏻でも電源をOFFにすることができます。

※ WiiメニューやWii専用ソフトを使用中は、GamePadで電源をOFFにすることはできません。

おしらせの受信について

本体設定 → 22 の「電源の設定」→「クイックスタート画面の設定をする」で、おしらせを受信する設定にしていると、新しいおしらせが届いたときに着信音が鳴って、GamePadの画面が表示されます。

※ しばらくすると自動的に画面はOFFになります。すぐに画面をOFFにしたい場合は、おしらせの画面の左下にある「とじる」をタッチしてください。

※ 着信音の音量は、クイックスタート画面 → 3 の「設定」で変更できます。

3 クイックスタート画面

Wii U GamePadのⓈまたはⓀを押して電源をONにしたときに表示される画面です。

最近遊んだソフトの中から、遊びたいソフトを直接はじめることができます。すぐにゲームを楽しみたい方におすすめです。

※ クイックスタート画面を利用するには、あらかじめ本体設定
→ 22 の「電源の設定」で、「電源OFF時の動作を設定する」と「クイックスタート画面の設定をする」をそれぞれ「使う」に設定しておく必要があります。

※ Wiiメニューを直接はじめることもできます。→ 6

※ ネットワークを使ったサービスや機能を利用するには、ユーザーごとにニンテンドーネットワークIDの登録が必要です。

→ 23

画面の見かた



1 ソフトアイコン

最近遊んだソフトが10個まで表示されます。遊びたいソフトのアイコンをタッチしてください。

※ Wiiメニューから起動したWii専用ソフトは、Wiiメニュー → 6 のアイコンで表示されます（ソフトのアイコンは表示されません）。

※ Wii U本体を複数のユーザーでお使いの場合、自分以外のユーザーが遊んだソフトのアイコンが表示されることもあります（ユーザーごとの表示ではありません）。

※ 本体が電源OFFのときにインストールが完了したソフトのアイコンも表示されます。

※ GamePadのⓂとⒶでも操作できます。

2 ユーザーのMii（ミー）

ユーザーの自動選択が設定されている場合に表示されます。Miiをタッチすると、ゲームを遊ぶユーザーを変更することができます。

※ 自動選択の設定は、ユーザー設定  23 で変更できます。

3 クイックスタート画面の設定

お知らせを受信したときの着信音の設定などができます(着信音の音量は、GamePad上面のボリュームでは調整できません)。

4 Wii Uメニューへ

Wii Uメニュー  4 を表示します。

クイックスタート画面に表示されていないソフトをはじめたい場合に選んでください。

Wii Uメニューでは、画面に表示されるたくさんのソフトの中から好きなソフトをはじめたり、各種設定を行ったりすることができます。

※ ネットワークを使ったサービスや機能を利用するには、ユーザーごとにニンテンドーネットワークIDの登録が必要です。

→ 23

画面の見かた

テレビの画面には、ほかの人が遊んでいるソフトやMiiverse → 11 での話題などが表示されます(インターネット接続時に定期的に更新されます)。

Wii U GamePadの画面には、本体に内蔵されているソフトなどが表示されます。



1 わらわら広場

Miiverseへの投稿や話題になっているソフトの情報などを見ることができます。

2 表示の拡大/縮小

3 画面の切り替え

テレビとGamePadに表示される画面を切り替えます。GamePadに表示を切り替えると、タッチやスライドで操作することができます。

GamePad



4 ユーザーのMii(ミー)

今Wii Uを使用している人のMiiが表示されます。Miiをタッチすると、ユーザーの交代や設定ができます。

→ 23

5 ソフトアイコン

ソフトをはじめるには、アイコンをタッチしてください。

※ コントローラーの $\oplus$ と A でも操作できます。

※ ソフトに新しく追加データやお知らせが届いたときは、アイコンの周囲が青く光ります。

※  (空きボックスアイコン)をタッチするとフォルダーを作ることができます。 → 27

※ アイコンをタッチし続けると、移動できるようになります。タッチしたまま移動したい場所までスライドして、指またはタッチペンを離してください。

※ Wii Uメニューに表示できるアイコンは、ソフトが最大300個、フォルダーが最大60個です。

6 USB記録メディア

お使いのWii U本体で初期化したUSB記録メディアが接続されている場合に表示されます。USB記録メディアには、ニンテンドーeショップ → 12 で購入したダウンロードソフトなどを保存することができます。

7 画面の切り替え

テレビとGamePadに表示される画面を切り替えます。テレビに表示を切り替えると、Wiiリモコンで操作することができます(あらかじめWii U本体にセンサーバーを接続しておく必要があります)。

8 ページの移動

タッチすると、画面をスクロールできます。

ソフトアイコン

Wii Uメニューに表示されるソフトアイコンには、次の種類があります。

■ ディスクソフトアイコン



ディスクスロットにWii Uのゲームディスクを入れると、そのゲームのアイコンが表示されます。Wiiのゲームディスクを入れた場合は、が表示されます。

■ 本体内蔵ソフトアイコン

Wii U本体には、次のようなソフトが入っています。



安全に使用するために

Wii Uを安全に使用するための注意事項を表示します。



保護者による使用制限

お子様によるソフトの使用や購入を制限したり、インターネットの使用を制限したりできます。

→ 24



本体設定

インターネットやテレビ画面の設定など、Wii Uの設定をします。 → 22



Wiiメニューへ

WiiディスクやWiiウェア、バーチャルコンソール対応ソフトで遊べます。 ➡ 6



Miiスタジオ

あなたや家族、友達の分身として、Miiを作ることができます。 ➡ 10



毎日のきろく

Wii U本体で遊んだゲームの数やプレイした時間を確認できます。 ➡ 19



Nintendo×JOYSOUND Wii カラオケ U

ご家庭で本格的なカラオケが楽しめます。 ➡ 16



Wii U Chat

インターネットを通じて、フレンドとテレビ電話ができます。 ➡ 15



フレンドリスト

登録されたフレンドのインターネットの接続状況や、プレイしているゲームなどが確認できます。 ➡ 17



Miiverse(ミーバース)

世界中の人たちがMiiを通じてつながるネットワークサービスです。 ➡ 11



ニンテンドーeショップ

いろんなソフトの情報や映像を見たり、ダウンロードソフトなどを購入したりできます。 ➡ 12



インターネットブラウザー

インターネットのウェブページを閲覧することができます。 ➡ 13



Nintendo TVii

テレビ番組に関する情報を、手軽にチェックすることができます。 ➡ 14

.....



お知らせリスト

任天堂やソフトからのお知らせを見ることができます。 ➡ 18

.....



ダウンロード管理

ダウンロードソフトや追加コンテンツなどのダウンロード状況を確認することができます。 ➡ 20

Wii U本体の電源をONにしたあとにコントローラーのⓈを押すと表示されるメニューです。

ソフトを中断して電子説明書を見たり、ニンテンドーeショップやインターネットブラウザーなどの一部の本体
内蔵ソフトをはじめたりすることができます。

画面の見かた



1 ユーザーのMii

今Wii Uを使用している人のMiiが表示されます。

2 コントローラーの電池残量

使用しているコントローラーの電池残量が表示されます。

3 ソフトアイコン

ほかのソフトのプレイ中でも起動することができるソフトです。

4 コントローラーの設定

Wii U本体で使用するコントローラーの設定ができます。

5 電子説明書

Wii U本体のくわしい使いかたを確認できます。

ソフトのプレイ中は、ソフトの遊びかたを確認できます。

※「ソフトをおわる」を選ぶと、プレイ中のソフトを終了して

Wii Uメニューに戻ります。セーブしていない内容は消えてしまいますので、ご注意ください。

コントローラーの設定

コントローラーの設定を変更することができます。

「画面OFF」を選ぶと、GamePadの画面を消すことができます。テ

レビ画面だけを表示させてソフトをプレイする場合に、GamePadのバッテリーの消費を抑えることができます。別売のコントローラーをWii U本体で使えるようにするには、「登録」を選んだあと、画面の案内に従って操作してください。

※ Wii U本体のシンクロボタン(SYNC)を押してコントローラーを登録する方法もあります。 → 21



■ Wii U GamePadの設定

以下のことができます。

- ・画面の明るさの調整
- ・省エネモードの設定
- ・振動機能の設定
- ・バッテリー残量の確認



バッテリーの持続時間について

使用する機能(カメラやマイクなど)や無線通信の使用状況、周囲の温度、画面の明るさなどによって変わります。

「省エネモード」をONにすると、表示する明るさなどが自動的に調整されるため、バッテリー持続時間が長くなります。

※ お買い上げ時、画面の明るさは「4」に設定されています。

※ 画面の明るさが「4」または「5」に設定されているときにACアダプターを接続すると、画面がより明るくなります。

■ Wiiリモコンなどの設定

以下のことができます。

- ・ 音量調整
- ・ 振動機能の設定
- ・ Wii U本体に登録しているコントローラーの順番(1Pや2Pなどのプレイヤー番号)の変更
- ・ 電池残量の確認



※ Wii U本体に登録しているすべてのコントローラーの設定が変更されます。

Wii専用ソフト(WiiディスクやWiiウェア、バーチャルコンソール対応ソフト)を遊ぶためのメニューです。



※ GamePadやWii U PROコントローラーでは操作できません。

用意するもの

Wiiメニューをはじめるには、次の周辺機器が必要です。

- ・Wiiリモコン（またはWiiリモコンプラス）
- ・センサーバー

あらかじめWii U本体にセンサーバーを接続して、Wiiリモコンを本体に登録 ➡ 21 しておいてください。センサーバーの接続方法については、📖 Wii U取扱説明書をご覧ください。

※ ソフトを遊ぶには、プレイ人数分のコントローラーや対応周辺機器が必要な場合があります。くわしくは、各ソフトの取扱説明書をご覧ください。

Wiiメニューをすぐにはじめるには

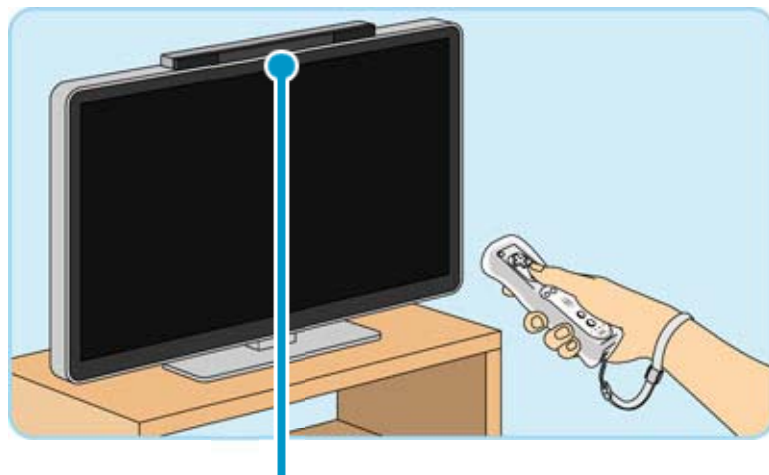
Wii U本体の⓪を押して電源をONにしたあと、画面に「Wii U」が表示されたら、GamePadのⓑを押し続けてください。Wiiメニューを直接はじめることができます。



画面操作について

テレビやGamePadの画面に表示したWiiメニューやWii専用ソフトは、Wiiリモコンで操作します。

● テレビに表示して操作する場合

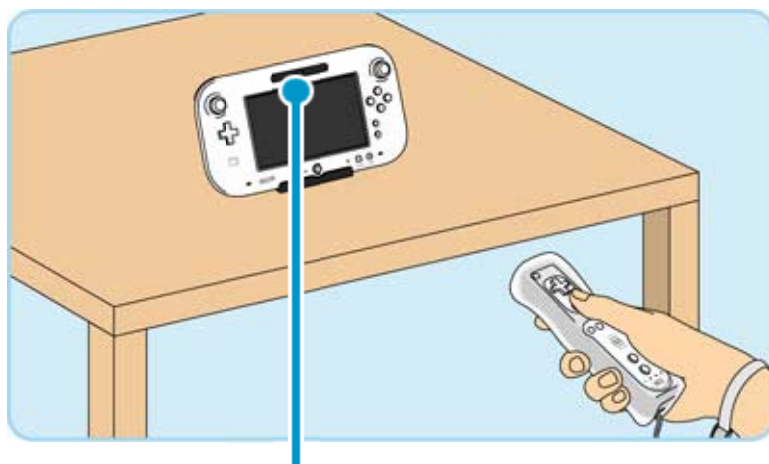


センサーバー

次のような環境で操作してください。

- ・テレビの上（または下）に設置したセンサーバーの前の面がしっかり見えている
- ・センサーバーとWiiリモコンの間に障害物がない
- ・テレビの正面に座って（立って）いる
- ・センサーバーから1～3m離れている

■ GamePadに表示して操作する場合



センサーバー

次のような環境で操作してください。

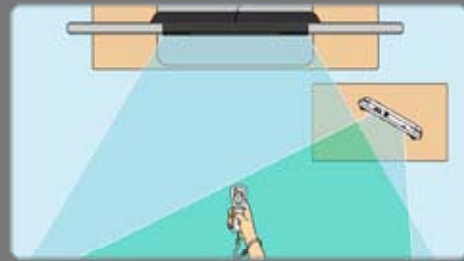
- ・GamePadを、水平な場所（テーブルの上など）に置いたWii U GamePadプレイスタンドやWii U GamePad充電スタンドにのせている
- ・GamePadのセンサーバーとWiiリモコンの間に障害物がない
- ・GamePadの正面に座って（立って）いる
- ・GamePadから30cm～1m離れている

※ Wii Uベーシックセットには、プレイスタンド[WUP-016]や充電スタンド[WUP-014]は付属しておりません。店頭または任天堂ホームページで購入することができます。

<http://www.nintendo.co.jp/support/>

操作時のご注意

テレビの近くに電源がONの状態のGamePadがあると、右図のような場所(濃い緑色の範囲)でWiiリモコンの操作が不安定になる場合があります。



2つのセンサーバー(GamePadとテレビ側)の影響を受けないように、GamePadの向きを変えるなどして使用してください。

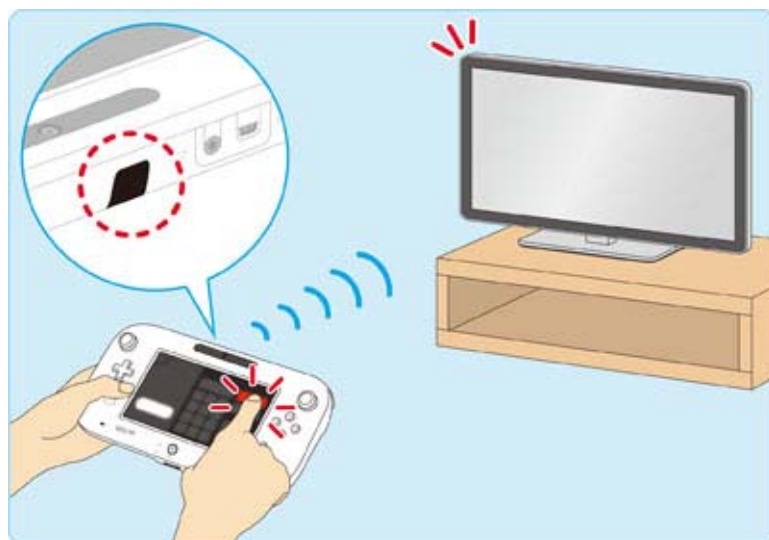
Wiiメニューの使いかた

くわしい使いかたについては、
Wii Wiiメニュー電子説明書をご覧ください。



GamePadで、お使いのテレビやチューナーなどの操作(電源ON/OFF、チャンネル切り替えなど)ができる機能です。

テレビのリモコンを使わなくても、GamePadひとつでテレビを見たり、ゲームをはじめたりすることができます。GamePadの赤外線受発光部をテレビに向けて操作してください。



※ あらかじめ、本体設定 ➡ 22 でお使いのテレビのメーカーなどを登録しておく必要があります。

※ Wii U本体の電源がOFFのときでも、ゲーム中でも、操作できます。

※ ゲーム中に本機能を使用する場合、ゲームは中断されません。ゲームを中断したい場合は、Ⓢを押してHOMEボタンメニューを開いてから、TVを押してください。

画面の見かた

TVを押すと、TVリモコンの画面が表示されます。



1 テレビの電源

テレビの電源をON/OFFします。

本体設定  22 でお使いのDVDレコーダーやチューナー(ケーブルテレビや衛星放送など)を登録しておく、それぞれの電源のON/OFFもできるようになります。

2 入力の切り替え

タッチするたびに、テレビに接続されている機器の画面に表示が切り替わります。

3 チャンネルの切り替え

タッチするたびに、チャンネルが切り替わります。
左の数字  ~  を選んで直接チャンネルを切り替えることもできます。

4 音量の調整

 や  をタッチするたびに、テレビの音量が上下します。

5 放送波の切り替え

ご契約済みの放送波の切り替えができます。

6 番組表

本体設定  22 で登録した機器(テレビ、DVDレコーダー、チューナーのいずれか)に番組表の機能が内蔵されている場合、番組の一覧をテレビ画面で見ることができます。

※ GamePadのとで操作してください。

7 Wii Uであそぶ

Wii Uの電源をONにします。

※ 電源がOFFの状態のときのみ表示されます。

遊べるソフトの種類と、ソフトの年齢区分マークについて説明します。

ソフトの種類

Wii Uでは、Wii U専用ソフトやWii専用ソフトを遊べます。

Wii U専用ソフト	・ Wii Uディスク ・ ダウンロードソフト ・ バーチャルコンソールソフト(Wii U版)
Wii専用ソフト	・ Wiiディスク ・ Wiiウェア ・ バーチャルコンソールソフト(Wii版)

使用できる周辺機器について

Wiiの周辺機器は、一部を除き、Wii Uでも使用することができます。 → 34

Wii U本体に、ニンテンドー ゲームキューブの周辺機器(ニンテンドー ゲームキューブ コントローラなど)を接続することはできません。

年齢区分マーク(CEROレーティングマーク)

表示年齢に達しない方にとって、ふさわしくない表現内容が含まれることを示すマークです。購入時の参考にしてください。

Wii Uでは、お子様の年齢に合わせて、遊べるソフトを制限できます。 → 24



全年齢対象



12歳以上対象



15歳以上対象



17歳以上対象



18歳以上のみ対象



教育・データベース

- ※ ゲームの難易度を示すものではありません。
- ※ 対象年齢は、CERO倫理規定に基づいて審査されています。
- ※ 通信プレイなどを通して得られる追加の表現については適用されません。

コンテンツアイコンについて

対象年齢を決定した根拠となる表現を示すアイコンで、年齢区分がB～Zのソフトに表示されています。

 恋愛	 ギャンブル
 セクシャル	 犯罪
 暴力	 麻薬
 恐怖	 言葉・その他
 飲酒・喫煙	

ゲームのはじめかたや、終わりかたを説明します。

ゲームのはじめかた

Wii Uメニューで、アイコンをタッチしてください。

Wiiディスクの場合は、Wiiメニューに移動します。



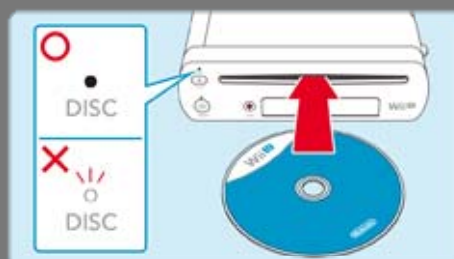
以降の操作は、各ソフトの説明書をご覧ください。

※ WiiリモコンやWii U PROコントローラーを使うには、あらかじめWii U本体への登録が必要です。Wii Uメニューが表示されている状態でWii U本体のシンクロボタンを押して、画面の案内に従って登録してください。 ➡ 21

※ Wiiショッピングチャンネルで購入したソフトはWiiメニュー ➡ 6 で遊べます。

Wii UディスクやWiiディスクで遊ぶときは

ディスクランプが消えていることを確認してから、Wii U本体にディスクを入れてください。



※ ディスクランプが点灯している場合は、⏏ (ディスクイジェクトボタン)を押してディスクを取り出してください。

ゲームの一時中断/終わりかた

⏏を押すと、ゲームを一時中断できます。

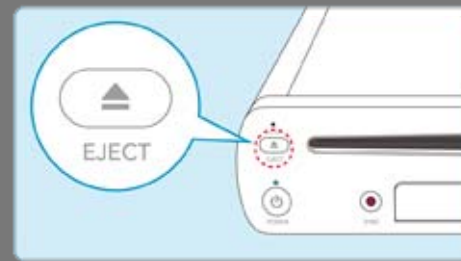
ゲームを終了する場合は、「ソフトをおわる」をタッチしてください。Wii専用ソフトの場合は、「Wiiメニューへ」を選んでください。

※ 通信対戦中など、状況によっては一時中断されない場合があります。

※ ゲームを終了すると、セーブしていない内容は消えてしまいますので、ご注意ください。

ディスクを取り出すときは

 (ディスクイジェクトボタン)を押してください。



説明書を見るときは

ソフトをはじめたあと、を押してHOMEボタンメニューを開き、「説明書」をタッチしてください。プレイ中のソフトの説明書が表示されます。

※ Wiiのディスクソフトには、電子説明書はありません。

いろいろな顔のパーツを組み合わせて、あなたや家族、友達の分身として、Mii(ミー)というキャラクターを作成することができます。



※ 本ソフトで作成したMiiは、対応するほかのソフトに登場したり、プレイヤーとして使用したりできます。

※ Wii専用ソフトでMiiを使うには、Wiiメニューの「似顔絵チャンネル」で作成してください。本ソフトで作成したMiiは使えません。

説明書を見るときは

ソフトをはじめたあと、を押してHOMEボタンメニューを開き、「説明書」をタッチしてください。電子説明書が表示されます。

世界中の人たちがMiiを通じてつながるネットワークサービスです。プレイしているソフトの中での体験や、興味を持っている話題を、世界中の人たちと共有することができます。



※ インターネットへの接続が必要です。

※ HOMEボタンメニュー ← 5 から始めることもできます。

※ 保護者による使用制限 → 24 で、Miiverseの閲覧や投稿を制限することができます。

説明書を見るときは

ソフトをはじめたあと、Miiverseのメニューバーにある「マイページ」をタッチして、「マイメニュー」から「説明書・利用ガイド」を選んでください。

ダウンロードソフトや追加コンテンツなどを購入できるインターネット上のお店です。また、ソフトの詳細情報や紹介映像を見たり、体験版をダウンロードしたりすることもできます。



※ インターネットへの接続が必要です。

※ HOMEボタンメニュー ← 5 から始めることもできます。

※ ソフトや追加コンテンツなどを購入するには、ニンテンドーeショップに残高を追加(チャージ)する必要があります。

※ Wii Uのユーザーとニンテンドー3DSシリーズ本体に同じニンテンドーネットワークIDを登録すると、ニンテンドーeショップの残高や気になるリストなどを共有できます。

※ 保護者による使用制限 → 24 で、ソフトの購入やクレジットカードの使用を制限することができます。

説明書を見るときは

ソフトをはじめたあと、ニンテンドーeショップのメニューバーにある「マイメニュー」をタッチして、「ヘルプ」から「説明書」を選んでください。

13 インターネットブラウザー

テレビ画面とGamePadの画面(タッチスクリーン)を使って、簡単な操作でインターネットのウェブページを閲覧することができます。



※ インターネットへの接続が必要です。

※ HOMEボタンメニュー ← 5 から始めることもできます。

※ 保護者による使用制限 → 24 で、使用を制限することができます。また、フィルタリングサービス「i-フィルター for Wii U」(有料)を利用することで、有害なサイトへのアクセスを防ぐことができます。くわしくは、インターネットブラウザーの電子説明書をご覧ください。

説明書を見るときは

ソフトをはじめたあと、インターネットブラウザーのスタートページで「説明書を見る」をタッチしてください。

気になったテレビ番組のくわしい情報や、その番組に関係する人物のプロフィールを手軽にチェックすることができるサービスです。また、あなたやあなたのご家族が登録したお気に入りの内容を元に、好みにあわせた番組をおすすめるモードのほか、番組や出演者についての投稿/閲覧を楽しむことができます。



※ インターネットへの接続が必要です。

※ HOMEボタンメニュー ← 5 から始めることもできます。

※ 保護者による使用制限 → 24 で、使用を制限することができます。

「Nintendo TVii」の使いかた

「Nintendo TVii」の便利な使いかたについては、ソフトをはじめたあと、メニューの中にある「説明書」をご覧ください。

インターネットを通じて、無料でテレビ電話ができます。遠く離れた家族や友達と、お互いに顔を見ながら、会話ができます。



また、テレビ電話中に、GamePadの画面にタッチペンで自由に文字や絵などを書いて、相手に見せられます。

※ インターネット接続に必要な費用や通信料などは、お客様のご負担になります。

※ テレビ電話をするには、お互いにフレンド登録 ➡ 17 をしておく必要があります。

※ 保護者による使用制限 ➡ 24 で、使用を制限することができます。

説明書を見るときは

ソフトをはじめたあと、Ⓢを押してHOMEボタンメニューを開き、「説明書」をタッチしてください。電子説明書が表示されます。

採点機能やパーティゲームなどで、ひとりでもみんなでも楽しめる本格的なカラオケです。



自分のMiiの映像で歌ったり、

Miiでお気に入り曲を管理したり、Wii Uならではの機能もあります。

※ Wii Uマイクなど、別売のUSBマイクに対応しています。

※ 本体設定 ➡ 22 の「データ管理」で本ソフトを消去した場合、ニンテンドーeショップ ← 12 から再ダウンロードできます（本ソフトを更新していない本体では消去できません）。

説明書を見るときは

ソフトをはじめたあと、Ⓜを押してHOMEボタンメニューを開き、「説明書」をタッチしてください。電子説明書が表示されます。

17 フレンドリスト

友達をフレンドとして登録すると、離れた場所においてもインターネットを通じて一緒にプレイを楽しんだり、Miiverse ◀ 11 で直接メッセージをやり取りしたりすることができます。



※ ニンテンドーネットワークIDの登録 ▶ 23 が必要です。

※ 保護者による使用制限 ▶ 24 で、フレンドの登録を制限することができます。

フレンドの登録やメッセージに関するご注意

知らない人とフレンドの登録をしたりメッセージを受信したりすると、不快な気持ちになるような言葉を使用されたりする可能性がありますので、ご注意ください。

画面の見かた

フレンドのMiiやニックネーム、オンライン状態などが表示されます。



1 自分の情報

タッチすると、ひとことコメントを入力できます。

2 フレンドリクエストの通知

いっしょに遊んだユーザーなどから、フレンドに登録するためのリクエストが届くと表示されます。

タッチして、そのユーザーとフレンドになるかどうか選んでください。

※ 13歳未満のユーザーは、フレンドリクエストを受け取ったり送ったりすることはできません。「フレンドの

登録」で、実際に知っている友人のニンテンドーネットワークID ➡ 23 を入力して登録してください。

3 フレンドの一覧

フレンドが一覧で表示されます。
フレンドをタッチすると、プロフィールや今遊んでいるソフトの情報などを見ることができます。フレンドが遊んでいるソフトを自分も持っている場合、そのフレンドといっしょに同じソフトで遊ぶことができます。

4 いっしょに遊んだユーザー

インターネットを通じていっしょに遊んだことがあるユーザー(フレンドを含む)が一覧で表示されます。

5 フレンドの登録

相手のニンテンドーネットワークID ➡ 23 を入力すると、相手にフレンドリクエストが届きます。受け取った相手が承認すると、フレンドとして登録できます。
※ フレンドは、最大100人まで登録できます。
※ 13歳未満のユーザーは、フレンドとして登録したい相手(実際に知っている友人)と、お互いのニンテンドーネットワークIDを入力する必要があります。

6 設定

フレンドに公開する情報やフレンドリクエストの受信に関する設定などができます。

フレンドの一覧の並び順について

	いっしょに遊ぶことができるオンラインのフレンド
	プレイ中のオンラインのフレンド
	プレイ中ではないオンラインのフレンド
	オフラインのフレンド
	フレンドリクエストを送信済みのユーザー
	ニンテンドーネットワークIDを登録中のユーザー

いっしょに遊んだユーザー

いっしょに遊んだソフトや日時のほか、フレンドリストなどへの登録状況が表示されます。



※ 最大100件まで表示されます。100件を超えると、古い情報から消去されます。

※ フレンドのMiiには😊が表示されます。😞については、下記の「ブロックリスト」をご覧ください。

また、ユーザーをタッチすると次のことができます。

- ・ゲーム中の名前を確認する
- ・ユーザーのプロフィールをMiiverseで確認する
- ・ユーザーのMiiを保存する
- ・ユーザーにフレンドリクエストを送信する
- ・ユーザーをブロックリストに登録する

ブロックリスト

不快なユーザーに対して、フレンドリクエストをブロックしたり、ソフトの中で出会う確率を下げたりすることができる機能です。登録すると、Miiの横に😞が表示されます。

※ 最大100人まで登録できます。100人を超えると、はじめに登録したユーザーから順にブロックリストから消去されます。

※ ブロックリストからはずす場合は、フレンドリストの「設定」で行ってください。

設定

以下のことができます。

- ・自分のオンライン状態とプレイ中のソフトの公開について設定する
- ・フレンドリクエストの受信について設定する
- ・ブロックリストを確認したり、登録したユーザーをはずす



18 お知らせリスト

任天堂やソフトからのお知らせが、最大100件表示されます。



※ お知らせを受け取るには、インターネットへの接続が必要です。

※ Wiiメニュー ← 6 で遊んでいるソフトからは、受け取ることができません。

お知らせを見る

未読のお知らせは、光って表示されます。見たいお知らせをタッチしてください。



お知らせによっては、関連ソフトを直接起動できるアイコンのほか、次のアイコンが表示される場合があります。



ソフトからのお知らせの配信を停止できます。



Miiを保存できます。

※ 任天堂からのお知らせは、お客様への重要なお案内をお届けするため、お客様ご自身で配信を停止することはできません。

※ 不要なお知らせを削除したり、残しておきたいお知らせを保護しておくことはできません。

※ お知らせが100件を超えた場合や、お知らせリストの保存容量を超えた場合(画像付きのお知らせが多い場合など)は、古いお知らせから順に消去されます。

19 毎日のきろく

Wii Uのソフトで遊んだ時間や回数を、日付やソフトごとに見ることができます。



※「毎日のきろく」には、Wiiのソフトは記録されません。Wiiメニュー ← 6 のWii伝言板で、Wiiのソフトで遊んだ時間のみ確認できます。

画面の見かた

テレビの画面には遊んだ時間やソフトの本数の合計が、GamePadの画面には遊んだソフトが一覧で表示されます。

テレビ



GamePad



1 ユーザーの切り替え

ほかのユーザーの記録を表示します。

※ ユーザーが2人以上いる場合に表示されます。

2 表示の切り替え

集計結果を日単位または月単位で表示します。

3 遊んだソフトの一覧

遊んだ時間が長いものから順に、30位までを表示します。ソフト名をタッチすると、これまでに遊んだ時間や回数などの合計を見ることができます。

※ 記録できるソフトは256本までです。それを超えると、一番古い記録から順に消去されます。

※ /を押すと、遊んだ記録がある一番近い日(または月)に戻ったり進んだりすることができます(/を押しても同様です)。

ニンテンドーeショップで購入したソフトなどのダウンロード状況の確認ができるほか、いつの間に通信(※)を停止したり、ソフトをプレイしながら行うダウンロードを停止したりできます。



※ いつの間に通信とは、さまざまな情報を自動的に送受信することができる機能です。

更新データのダウンロードやインストールを自動で行うには

本体設定 → 22 の「電源の設定」で「電源OFF時の動作」を「使う」に設定していると、本体の電源をOFFにしたあとに、新しい更新データがある場合はダウンロードとインストールが自動的行われます。次にソフトを起動したとき、更新データのダウンロード/インストールを待たずに、すぐに遊ぶことができます。

※ お買い上げ時、「電源OFF時の動作」は「使わない」に設定されています。

画面の見かた

ダウンロード中および完了しているデータが、一覧で表示されます。



1 設定

ソフトのプレイ中など、ほかの操作をしているときにダウンロードを行うかどうかを設定したり、データが正しくダウンロードされない(自動更新されな

い)場合の確認をしたりすることができます。

※ ソフトのプレイ中などにダウンロードを行わない場合は、「ダウンロード無効」に設定してください。

2 ダウンロード状況

データの名前や受信状況などが表示されます。

ダウンロード中のデータには↓が表示されます(新しく見つかった更新データなど、自動的にダウンロードしているデータの場合は、ソフトアイコン上に🔄が表示されます)。

タッチすると、データの種類や容量、保存先が確認できます。エラーが発生した場合は、対処方法が確認できます。

※ インストールが完了すると、Wii Uメニューにアイコンが追加されます。

※ 最大64件までダウンロードの管理ができます。64件を超えるとダウンロードできませんので、先にほかのデータをインストールしてください。

※ 一覧から消去する場合は、「消去する」をタッチしてください。

3 いつの間に通信の利用状況

いつの間に通信の利用状況を確認したり、いつの間に通信によるデータの送受信を停止したりすることができます。

ダウンロードの順番を入れ替える

複数のデータをダウンロード中に、早くダウンロードを終わらせたいデータがある場合は、一覧からデータを選んだあと、「先にダウンロードする」をタッチしてください。ダウンロードの順番を1番目に変更することができます。

WiiリモコンやWii U PROコントローラーなどを使用するには、あらかじめWii U本体への登録が必要です。

登録のしかた



Wiiリモコンなどの
登録画面



GamePadの
登録画面

Wii Uメニューが表示されている状態でWii U本体のシンクロボタンを押したあと、画面の案内に従って、お使いのコントローラーを登録してください。

※ HOMEボタンメニュー  から登録することもできます。

※ ソフトで利用できるコントローラーの数は、ソフトの対応人数(プレイ人数)によって異なります。使用するコントローラーの順番(1P～4P)は、HOMEボタンメニューで変更することができます。 

※ 登録したコントローラーをほかのWii U本体で使う場合は、その本体であらためて登録する必要があります。

Wii U本体1台に登録できるコントローラーの数は、以下のとおりです。

・ Wii U GamePad	1台
・ Wii U PROコントローラー ・ Wiiリモコン ・ バランスWiiボード※1	合計10個※2

※1 1台だけ登録できます。

※2 11個以上登録した場合は、最初に登録したコントローラーから順に消去されます。

インターネット接続やデータ管理などWii U本体に関する設定をしたり、Wii U本体のシステムのバージョンを確認したりできます。



※ すべてのユーザー → 23 に同じ設定内容が適用されます。
ユーザーごとの設定はできません。

設定できること

「本体設定」では、次のことが設定できます。

項目	内容
インターネット	・インターネット接続の設定をする ・おすすめの接続方法を診断する ・MACアドレスを見る ・ソフトを自動的に受け取る
データ管理	・セーブデータやソフトなどを整理する ・USB記録メディアを初期化する
amiibo設定	・amiibo™のデータを編集する
日付と時刻	・日付と時刻を設定する
テレビ	・テレビとの接続方法を設定する ・解像度を設定する ・画面の比率を変更する ・サウンドの再生方式を設定する ・画面の大きさを調整する
TVリモコン	・TVリモコン機能を設定する
Wii U GamePad	・タッチスクリーンを補正する ・HOMEボタンランプを設定する ・マイクのテストをする ・サウンドの再生方式を設定する
画面焼け軽減	・テレビとGamePadの画面焼けを軽減する

Wiiリモコンと センサーバー	・センサーバーの位置を設定する ・Wiiリモコンのポインターの感度を調整する ・Wiiリモコンなどのコントローラーの登録を消去する
電源の設定	・自動的に電源をOFFにする ・電源OFF時の動作を設定する ・クイックスタート画面の設定をする
本体の情報	・サポート用情報を確認する ・Wii U利用規約を確認する ・Wii専用ソフトで使う本体ニックネームを設定する
ソフトとデータの 引っ越し	・Wii U同士で引っ越しする ・WiiからWii Uへの引っ越し方法を確認する
本体の更新	・本体のシステムを最新にする
本体の初期化	・本体を初期化する

■「電源OFF時の動作」について

本体の電源をOFFにしたあとで、自動的にデータのダウンロード/インストールを行うことができる機能です。

「使う」に設定している場合は、電源をOFFにしたあと、一定時間ごとに電源ランプが赤色からオレンジ色に変わります。更新データやダウンロード/インストール中のソフトが見つかった場合は、残りのダウンロード/インストールが行われ、完了すると電源ランプが赤色に戻ります。

※ お買い上げ時は「使わない」に設定されています。

設定のしかた

くわしい説明がテレビ画面に表示されます。GamePadの画面をタッチして設定してください。

※ テレビ画面の説明は、GamePadのRスティックでスクロールできます。

Wii Uでは、ゲームのセーブデータや遊んだ時間  などを、ユーザーごとに保存/管理できます。また、任天堂が提供するネットワークサービスを利用するには、ユーザーごとにニンテンドーネットワークIDの登録が必要です。ユーザーの設定は、Wii Uメニューの左上にあるMiiをタッチして表示されるユーザー設定画面から行います。



ユーザー設定画面

ニンテンドーネットワークIDを登録する

ユーザーごとにニンテンドーネットワークIDを登録することで、Miiverseやニンテンドーeショップなどを利用したり、フレンドの



情報を管理したりできます。ユーザー設定画面で「ニンテンドーネットワークIDを登録する」をタッチし、画面の案内に従って操作してください。

ニンテンドーネットワークIDを登録すると、Miiの背景にマークが付きます。



※ すでにニンテンドー3DSシリーズ本体にニンテンドーネットワークIDを登録済みの方は、同じIDをWii U本体の自分のユーザーに登録することで、ニンテンドーeショップの残高などを共有できます。

※ ニンテンドーネットワークIDは、不特定多数の人に公開されます。IDに、名前など個人を特定できる内容を含む言葉を使用しないでください。

※ ニンテンドーネットワークIDの登録には、メールアドレスが必要です。

※ 13才未満のお子様用のニンテンドーネットワークIDは、保

護者の方が登録してください。また、保護者の方のメールアドレスが必要です。

※ インターネットブラウザー ← 13 は、ニンテンドーネットワークIDがなくても利用できます。

ユーザーの設定を変更する

ユーザー設定画面で設定を変更したい項目を選び、画面の案内に従って操作してください。



※ Wii UでニンテンドーネットワークIDの情報を変更すると、ニンテンドー3DSシリーズ本体に登録している同じIDの情報も変更されます。

※ ニンテンドーネットワークIDを消去すると、ニンテンドーeショップの残高なども削除され、ほかの本体でも使用できなくなります。くわしくは、Wii Uメニューの⚠(安全に使用するために)の「ユーザーについて」をご覧ください。

ユーザーを追加／交代する

家族など複数人で使用する場合は、はじめに、遊ぶ人をそれぞれユーザーとして追加してください。ユーザー設定画面で「ユーザーを交代する」をタッチすると、ユーザーの追加や交代ができます。画面の案内に従って操作してください。



※ 1台のWii U本体には、最大12ユーザーまで追加できます。

お子様が使用される場合は、保護者の方が必要に応じて設定してください。



- ※ 設定に関する詳しい説明は、設定時にテレビ画面に表示されます。
- ※ ニンテンドー3DSシリーズ本体と同じニンテンドーネットワークIDを登録している場合でも、保護者による使用制限の設定は共有されません。Wii U本体でも設定してください。

制限できること

Wii U本体では、次のような項目を制限することができます。

- ※ 制限できる項目は、本体の更新によって変更になる場合があります。

■ Wii Uメニュー上で制限できること

ユーザーごとに、制限項目を設定することができます。制限した項目以外に、Wii U Chatやユーザー設定  23、本体の初期化なども自動的に制限されます。

制限できる項目

項目	内容
年齢制限	CEROの年齢区分  に基づき、お子様の年齢にふさわしくない表現を含んだWii Uソフトについて、起動を制限します。※1
ゲームソフトの通信機能	不適切なコンテンツのやりとりや嫌がらせを防ぐために、ゲームソフトの通信機能(ゲーム内での対戦プレイやユーザー同士の会話、Miiverseへの投稿など)を制限します。※1
インターネットブラウザの使用	お子様にふさわしくない表現を含むWebページの閲覧を防ぐために、インターネットブラウザの起動を制限します。
ニンテンドーeショップ等での商品やサービスの購入	ニンテンドーeショップなどでの、クレジットカードの使用やソフトの購入を制限します。
Miiverseの使用	ほかのユーザーとの不適切なコンテンツのやりとりや、嫌がらせを防ぐため、Miiverseの閲覧や投稿を制限します。
フレンドの登録	フレンドの新規登録を制限します。
ゲーム以外のソフトの使用	ゲーム以外のソフト(動画視聴ソフトなど)や、新しいサービスを使う前に、保護者の方に内容をご確認いただくための画面を表示します。※2
データ管理	Wii Uソフトのセーブデータの消去や移動を制限します。※3
インターネット設定	インターネット設定の追加や変更、消去を制限します。

※1 Wii専用ソフトの制限は、「Wiiメニュー用の設定」で行います。

※2 年齢制限の項目で制限されないソフト(全年齢対象を除く)が対象です。インターネットブラウザやニンテンドーeショップ、Miiverseの制限は、それぞれの項目で設定してください。

※3 Wii専用ソフトやWiiメニュー上での制限はできません。

■Wiiメニュー上で制限できること

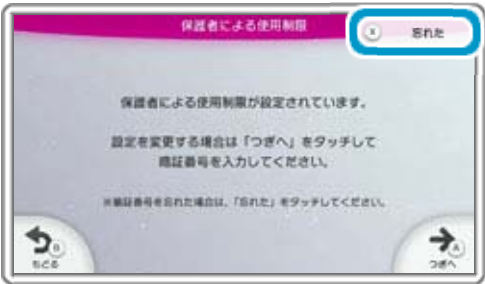
Wiiメニューでは、すべてのユーザーに同じ制限が適用されます(ユーザーごとの設定はできません)。

複数のお子様の使用を制限したい場合は、最も低い年齢のお子様に合わせて設定してください。

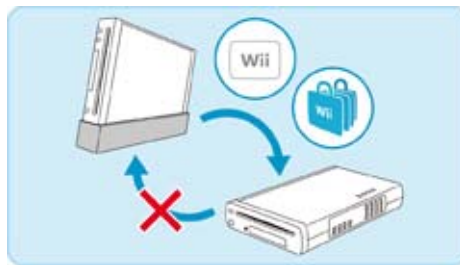
項目	内容
年齢制限	CEROの年齢区分  に基づき、お子様の年齢にふさわしくない表現を含んだWiiソフトについて、起動や、Wiiショッピングチャンネルでの購入を制限します。
Wiiポイントの使用と物品・サービスの注文	お子様が、保護者の方の同意なしにWiiショッピングチャンネルでWiiポイントを使用しないように制限します。 ※ ポイントの購入は制限されません。
一部のソフトのネットワーク機能	チャットや通信プレイなどによる不適切なコンテンツのやりとりなどを防ぐため、一部のソフトのインターネット通信を制限します。
年齢制限に対応していない一部のコンテンツの視聴	「年齢制限」の項目で制限できない一部のソフトでの動画の視聴を制限します。

本人確認用の暗証番号などについて

保護者による使用制限を設定するときに決める暗証番号と秘密の質問の回答は、忘れないようにご注意ください。万一、忘れた場合は、画面右上の「忘れた」をタッチして、画面の案内に従って操作してください。



お持ちのWii本体に保存されているソフトやセーブデータなどを、Wii U本体にまとめて引っ越し(移動)できます。



引っ越しできるデータ

次のデータをまとめて引っ越しできます。

データを個別に選んで引っ越ししたり、下記以外のデータ（ゲームキューブ用ソフトのセーブデータなど）を引っ越ししたりすることはできません。

Wiiソフト関連	・ Wii専用ソフトのセーブデータ ※1 ・ Wiiウェアとセーブデータ ※1 ※2 ・ バーチャルコンソール対応ソフトとセーブデータ ※1 ※2 ・ ソフトの追加コンテンツ
Wiiショッピングチャンネル関連	・ Wiiポイント ※3 ・ Wiiショッピングチャンネルのご利用記録
その他	・ Mii ※4

※1 セーブデータをSDカードに移動している場合は、Wii本体にデータを戻してから引っ越ししてください。

※2 ご購入時にWii本体に内蔵されていたソフトは、引っ越しできません。引っ越しできないソフトについては、任天堂ホームページ(<http://www.nintendo.co.jp/>)をご覧ください。

※3 Wiiポイントは、Wii U本体のWiiメニューにあるWiiショッピングチャンネルに加算されます。加算後の合計が10,000ポイントを超える場合は、引っ越しできません。

※4 Miiは、Wii U本体のWiiメニュー  にある似顔絵チャンネルに移動します。

引っ越しに関するご注意

- ・ 引っ越ししたデータは、Wii本体から消去されます。
- ・ Wii U本体からWii本体への引っ越しはできません。
- ・ Wii U本体に一度引っ越ししたデータは、Wii本体には戻せません。
- ・ Wii U本体のWiiメニューはWiiConnect24には対応していません。ソフトの中でWiiConnect24を使った機能は利用できなくなります。
- ・ ソフトが対応している周辺機器によっては、Wii U本体で使用できないものがあります。 → 34

Wiiショッピングチャンネルで購入したソフトを消去、または、SDカードに移動している場合は、「ご利用記録」がWii U本体のWiiメニューにあるWiiショッピングチャンネルに移動されます。Wiiショッピングチャンネルで再受信（無料）してください。

用意するもの

引っ越しには、Wii U本体セットのほかに、次のものがが必要です。

- ・ Wii本体セット
- ・ SD/SDHCメモリーカード 1枚（別売/空き容量512MB以上）
- ・ ブロードバンド・インターネット環境

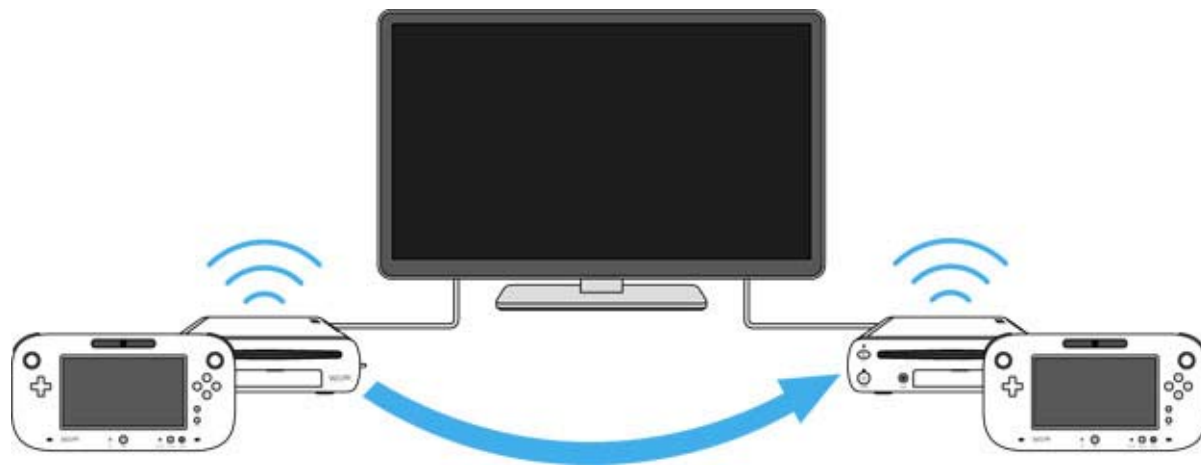
インターネット接続の設定については、Wii U本体とWii本体それぞれの取扱説明書をご覧ください。

引っ越しする

Wii Uメニューの  を選んでWiiメニュー  をはじめたあと、「Wiiからの引っ越し」を起動して、画面の案内に従って操作してください。引っ越しは、Wiiリモコンを使用してWii U本体とWii本体を交互に操作して行います。



Wii U本体に保存されているデータを、別のWii U本体に引っ越し(移動)できます。



引っ越しできるデータ

次のデータをまとめて引っ越しできます。

ユーザーやデータを個別に選んで引っ越ししたり、コントローラーに関する設定（本体登録の情報や、本体設定のコントローラー関連の設定内容）や、下記以外のデータの引っ越しはできません。

Wii Uソフト 関連 ※1	・ Wii U専用ソフトのセーブデータ ・ 購入時に本体に内蔵されていたソフトと、そのセーブデータ ※2 ・ ニンテンドーeショップからダウンロードしたソフトと、そのセーブデータ ・ ソフトの更新データや追加コンテンツ、期間券
ユーザー関連	・ ニンテンドーネットワークIDやメールアドレスなどの各種ユーザー設定 ・ 保護者による使用制限の設定 ・ ニンテンドーeショップのご利用記録と残高
Wii関連	・ Wii専用ソフト関連、Wiiショッピングチャンネル関連のデータ ※3 ・ Wiiショッピングチャンネルのご利用記録
その他 ※4	・ Mii

※1 一部、引っ越し先のWii U本体で使用できないソフトがあります。

※2 Miiスタジオやフレンドリスト、Miiverseなども、引っ越し先のWii U本体でそのまま使用できます。

※3 引っ越しできるデータについては、「WiiのデータをWii Uに引っ越す」  をご覧ください。Wiiのデータを個別に選んで引っ越すことはできません。

※4 テレビの設定など、本体設定の一部は、引っ越し先の設定がそのまま引き継がれます。

引っ越しに関するご注意

- ・ 引っ越ししたデータは、引っ越し元のWii U本体から消去されます。
- ・ 引っ越し先のWii U本体に保存されているデータ（セーブデータやユーザーを含む）は消去され、引っ越し元のWii U本体のデータが上書きされます。
 - ※ 購入時にWii U本体に内蔵されていたソフトは、消去されません。
- ・ 引っ越し先のWii U本体で使用していたUSB記録メディアは、どちらの本体でも使用できなくなります。また、USB記録メディアに保存されていたデータ(セーブデータを含む)も使用できなくなります。
 - ※ USB記録メディアを再度使用するには、初期化が必要です。
- ・ 引っ越し先のWii U本体でダウンロードしていたソフトや追加コンテンツもすべて消去されますが、引っ越し先に登録していたユーザーのニンテンドーネットワークIDを、引っ越し完了後のWii U本体にあらためて登録すると、ニンテンドーeショップから再ダウンロード(無料)できます。
- ・ 引っ越し先のWii U本体に登録していたニンテンドーネットワークIDを再度使用する場合は、登録していたニンテンドーネットワークIDとパスワード、メールアドレスが必要になります。必ず引っ越し前にご確認ください。
 - ※ ニンテンドーネットワークIDを忘れた場合は、ユーザー設定画面で確認できます。 
 - ※ パスワードを忘れた場合は、パスワード入力画面で「忘れた」をタッチして、画面の案内に従って操作してください。

用意するもの

引っ越しには、次のものがが必要です。

- ・ 引っ越し元のWii U本体セット、引っ越し先のWii U本体セット ※1
- ・ SD/SDHCメモリーカード 1枚 ※2
- ・ ブロードバンド・インターネット環境
- ・ ルーター機能のある通信機器（ブロードバンドルーターやブロードバンドモデム、無線LANアクセスポイントなど）
- ・ Wiiリモコンプラス（またはWiiリモコン） ※3

インターネット接続については、📖 Wii U取扱説明書をご覧ください。

引っ越し元のWii U本体で使用していたUSB記録メディアは、引っ越し先のWii U本体でそのまま使用することができます。

※1 引っ越し元のWii U本体には、ニンテンドーネットワークIDを登録したユーザーが最低1ユーザー必要です。

※2 SDカードに必要な空き容量は、本体に保存されているデータの量によって異なります。データの量はSDカードを差し込む前に、GamePadに表示されます。（最大32GB）

※3 Wiiソフト関連のデータがある場合に、必要となることがあります。

プレミアムセットからベーシックセットの本体への引っ越しについて

Wii U本体には、プレミアムセットとベーシックセットの2種類があり、Wii U本体に保存できるデータの量が異なります。引っ越しするデータの量が、引っ越し先のWii U本体に保存できる容量を超えている場合は、別途USB記録メディアが必要になります。

くわしくは、任天堂ホームページ（<http://www.nintendo.co.jp/support/>）をご覧ください。

引っ越しする

本体設定 ◀ 22 の「ソフトとデータの引っ越し」を選び、画面の案内に従って操作してください。引っ越しは、それぞれのGamePadを交互に操作して行います。

引っ越し元のWii U本体にダウンロードしていたソフトのデータは、引っ越し完了後にニンテンドーeショップから自動的にダウンロードされます（無料）。ダウンロード状況は、ダウンロード管理  20 で確認できます。

※ ダウンロードされるデータが64個を超える場合は、ニンテンドーeショップから個別に再ダウンロードする必要があります。「ダウンロード管理」でご確認ください。

※ ダウンロードされたソフトから順に遊ぶことができます。

※ ダウンロードには時間がかかる場合があります。

Wii Uメニューにフォルダーを作成して、ソフトアイコンを入れることができます。同じジャンルのソフトをひとつのフォルダーにまとめるなどして、Wii Uメニュー上のソフトアイコンを整理することができます。

※ フォルダーは最大60個まで作ることができ、1つのフォルダーには最大60個までのソフトアイコンが入ります。

フォルダーの使いかた

- 1 Wii Uメニューで□ (空きボックスアイコン)をタッチして、「フォルダーをつくる」をタッチする



- 2 フォルダーの名前を入力する



- 3 作成したフォルダーにソフトアイコンを移動する



※ ソフトアイコンをタッチし続けると移動できるようになります。

※ タッチしたままフォルダーの上に移動すると、フォルダーが開きます。お好みのところにソフトアイコンを移動したあと、タッチペンを離してください。

※ Wiiリモコンで操作する場合は、アイコンをポイントしたあと、[Z]を押してアイコンをつかみ、移動させたい場所でボタンを離してください。

※ 次のアイコンはフォルダーに入れることができません。

- ・ディスクソフトアイコン
- ・フォルダーアイコン
- ・画面下部に並んでいる本体内蔵ソフトのアイコン

フォルダーからソフトアイコンを出す場合は、アイコンをタッチしたまま、画面下部に移動してください。

フォルダーの設定

フォルダーを開いて、フォルダーの名前や🔧をタッチすると、フォルダーの名前を変更したり、フォルダーを消去したりすることができます。



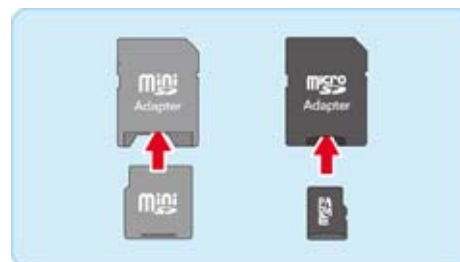
※ソフトアイコンがフォルダー内に1つでも入っているときは消去できません。

Wii U本体では、次のSD/SDHCメモリーカード(以降、SDカード)を使用できます。

種類	対応	容量
SDメモリーカード	○	2GBまで
SDHCメモリーカード	○	32GBまで
SDXCメモリーカード	×	-

※ 高速転送規格「UHS」のSDカードには対応していません。

miniSD/microSDカードを使用するときは、必ずSDカードアダプターを取り付けてください。



SDカードの使いかた

データの読み込み/書き込み中は、Wii U本体の電源をOFFにしたり、SDカードを抜いたりしないでください。Wii U本体やSDカードの故障、保存されているデータの消失の原因となります。

■差し込みかた

① スロットカバーを開ける



② 図のようにSDカードの向きに注意して、カチッと音がするまで差し込む



■取り出しかた

① SDカードをカチッと音がするまで押す



- ② 飛び出した部分を指でつまんで取り出す



Wii U本体が対応しているUSB機器については、任天堂ホームページ（<http://www.nintendo.co.jp/support/>）でご確認ください。

Wiiの周辺機器の対応状況については、「Wii Uに対応しているWiiの周辺機器」  **34** をご覧ください。

USB機器の使いかた

使用中は、電源をOFFにしたり、USB機器を抜いたりしないでください。Wii U本体やUSB機器の故障、保存されているデータの消失の原因となります。

USB機器の抜き差しは、Wii U本体の電源がOFF(電源ランプが赤色点灯)のときに行ってください。

■差し込みかた

Wii U本体の電源がOFFの状態
で、Wii U本体の前面または背面にあるUSB端子に、プラグの向きに注意してまっすぐ差し込んでください。



※ 5つ以上のUSB機器を接続する場合は、市販のUSBハブをお使いください。くわしくは、任天堂ホームページをご覧ください。

※ USB機器によってはWii U本体のUSB端子に直接接続しないと使用できないものがあります。くわしくは、お使いのUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

USB記録メディアの使用について

- ・ USB記録メディアをはじめて使う場合は、本体設定  の「データ管理」でUSB記録メディアを初期化してください。
- ・ お使いのWii U本体で初期化したUSB記録メディアをほかのWii U本体に接続しても、データの保存や読み込みはできません。
- ・ Wii Uメニュー  およびWiiメニュー  で使用できるUSB記録メディアは、それぞれ1つです。
- ・ 本体設定  の「データ管理」では、データの移動/コピーを行うときのみ、2つのUSB記録メディアを接続することができます。

文字を入力する場合は、画面に表示されるキーボードを使用します。

画面の見かた

画面上のキーを選んで入力します。

■「キーボード入力」モード画面の場合



- 1 入力した文字が表示されます。
- 2 途中まで入力した言葉をもとに予測された単語の候補が表示され、一覧から選んだ単語が入力されます。
◀ ▶ を選ぶと、次の候補が表示されます。
- 3 カーソル(|)のひとつ前の文字を消去します。
- 4 改行、または変換した文字を確定します。
- 5 入力した文字列を確定します。
- 6 タッチした文字が入力されます。
- 7 入力モード(文字の入力方法)を切り替えます。
- 8 入力した文字を変換します。

入力モードについて

5つの入力モードがあります。

※ ソフトによって、使用できる入力モードは異なります。

入力モード	内容
キーボード入力	パソコンと同じ文字配列のキーボードです。ローマ字入力ができます。
50音入力	50音順に文字が並んだキーボードです。濁点(゛)や半濁点(゜)、「っ」や「ゃ」などを入力する場合は、文字を入力したあとに、  や  、  をタッチします。
携帯入力	携帯電話と同じ文字配列のキーボードです。タッチするたびに、入力する文字が変わります。「次の文字」をタッチすると、同じボタンの文字を続けて入力することができます。
手書き入力	マス目の中に文字を書くと、右側に入力候補の文字が表示されます。入力したい文字をタッチしてください。
記号入力	記号や、アクセント記号が付いた外国語の文字の一部を入力することができます。

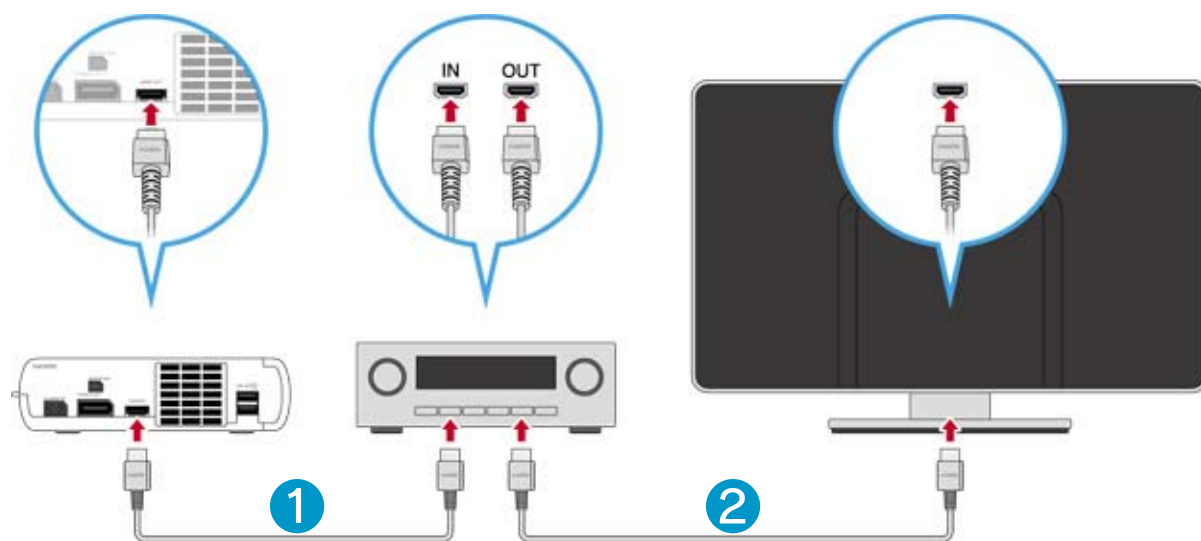
Wii UをAVアンプやアクティブスピーカーなどに接続することで、より迫力のあるサウンドを楽しむことができます。

接続のしかた

お使いのテレビとAVアンプの端子の種類によって、接続方法が異なります。

※ お使いのAVアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。

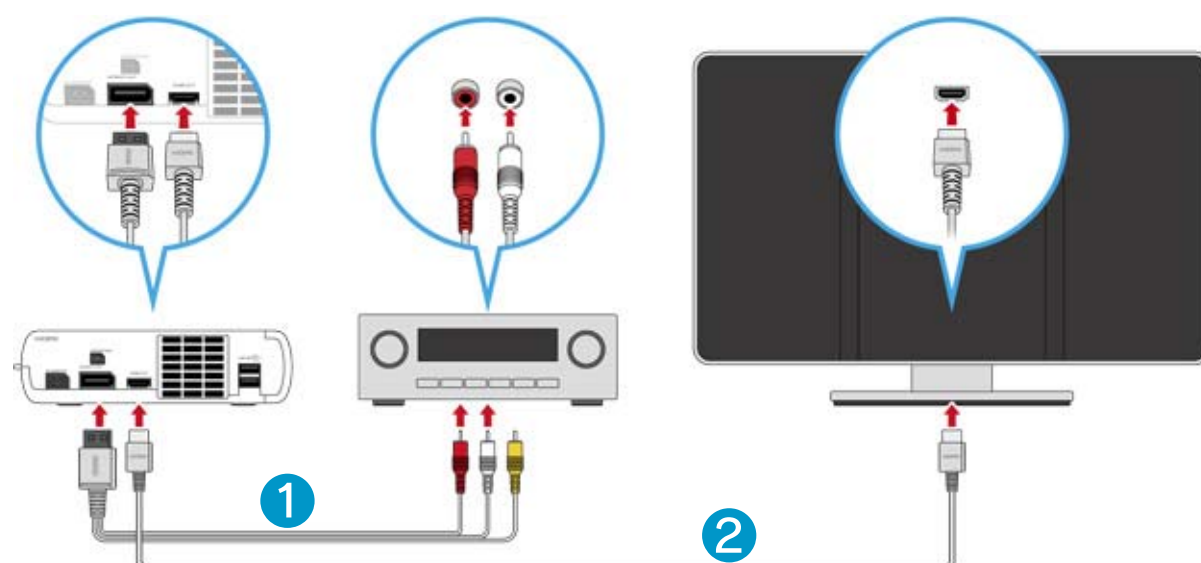
■ HDMI端子があるAVアンプの接続例（Wii Uソフトをサラウンドの音声で楽しみたい場合など）



本体セットに付属のHDMIケーブルのほかに、市販のHDMIケーブルをもう1本用意してください。

- ① Wii U本体とAVアンプを、HDMIケーブルで接続します。
- ② AVアンプとテレビを、HDMIケーブルで接続します。

■ HDMI端子がないAVアンプの接続例



① Wii U本体とAVアンプを、別売のAVケーブルで接続します。

※ Wii U本体で利用できるAVケーブルには、以下のものがあります。

- ・Wii専用AVケーブル[RVL-009]
- ・Wii専用S端子ケーブル[RVL-010]
- ・Wii専用コンポーネントAVケーブル[RVL-011]
- ・Wii専用D端子AVケーブル[RVL-012]

※ 赤色と白色の音声入力端子がない場合（アクティブスピーカーなど）は、市販の接続ピン変換ジャックを使って接続してください。

② Wii U本体とテレビを、HDMIケーブルで接続します。
テレビにHDMI端子がない場合は、お使いのAVアンプの取扱説明書をご覧ください、テレビとAVアンプが対応しているケーブルで接続してください。

サウンドの設定を変更する

AVアンプを接続したあと、本体設定  22 の「テレビ」で「テレビのサウンドの再生方式を選ぶ」をタッチして、サウンドの再生方式や出力ケーブルの設定（HDMIケーブル接続時のみ）を変更してください。



※ サウンドの出力ケーブルの設定で「HDMI以外」を選んだ場合、Wiiメニュー  6 ではHDMIケーブルを接続したテレビからも音が出ます。

※ Wii U本体をHDMIケーブルでのみ接続している場合にサウンドの出力ケーブルを「HDMI以外」に設定すると、テレビから音が出なくなります。ご注意ください。

本ページでは、次の項目について説明しています。修理サービスを依頼される前に、もう一度ご確認ください。

- 1 テレビの画面表示や音声について
- 2 GamePadの画面表示や音声について
- 3 ゲームソフトやセーブデータについて
- 4 パスワードについて
- 5 機器のランプについて
- 6 コントローラーの操作について
- 7 その他

※ 次の項目については、 Wii U取扱説明書「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

- ・ 電源や機器の温度について
- ・ 充電やバッテリーについて
- ・ テレビの画面表示や音声について
- ・ GamePadの画面表示やタッチスクリーンの反応について

※ Wiiメニューに関する内容は、 Wiiメニュー電子説明書をご覧ください。  6

※ 各ソフトや周辺機器の説明書もあわせてご覧ください。

1 テレビの画面表示や音声について

操作の反応が遅い／テレビの音声がずれる

Wii U本体から送られた入力信号は、テレビ内で処理されたあとに映像や音声として出力されるため、その処理時間が遅延時間として発生することがあります。Wii U本体やGamePad、テレビの故障ではありません。

なお、テレビによっては「ゲームモード」などに設定することでテレビ内での処理時間を短縮できる場合があります。くわしくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビから正しく音が出ない

本体設定  **22** の「テレビ」で、サウンドの再生方式や出力ケーブルの設定（HDMIケーブル接続時のみ）を確認してください。

※ AVアンプを使用する場合は、Wii U本体やテレビとの接続を確認してください。  **31**

※ Wii U本体をHDMIケーブルでのみ接続している場合にサウンドの出力ケーブルを「HDMI以外」に設定すると、テレビから音が出なくなります。ご注意ください。

2 Wii U GamePadの画面表示や音声について

電源をOFFにしているのに、GamePadの音が鳴る/画面が突然表示される

本体設定  **22** の「電源の設定」→「クイックスタート画面の設定をする」で、お知らせを受信する設定にしていると、新しいお知らせが届いたときに着信音が鳴って、GamePadの画面が表示されます。

※ しばらくすると画面は自動的にOFFになります。すぐに画面をOFFにしたい場合は、お知らせの画面の左下にある「とじる」をタッチしてください。

※ 着信音の音量は、クイックスタート画面の「設定」で変更できます。  **3**

ソフトをプレイ中に、GamePadを動かしていないのに画面が動いたり、操作と画面の動きが合わなかったりする

周囲の温度が急激に変化したり、GamePadに衝撃を与えたりしましたか？

GamePad内蔵の加速度センサーに誤入力が発生している可能性があります。次の方法で補正を行ってください。

HOMEボタンメニューを表示中に、GamePadの $\odot$ と $\textcircled{B}$ を3秒間押し続けてください。補正画面が表示されたら、GamePadを水平なところに置いてから、「補正する」または「初期状態にもどす」を選んでください。

※ 「補正する」を選んだ場合は、そのときのGamePadの状態を水平に置かれている状態として設定します。

GamePadの画面の色合いが変わる／急に明るさが変わったり、明るい色が見えなくなったりする

省エネモードをONにしていると、表示される映像に合わせて画面の明るさや色を自動的に調整して、バッテリーの消費を抑えます。そのため、映像によっては、淡い色が白飛びしたり、色が変わったりして見える場合があります。一定の明るさや色合いで使用したい場合は、HOMEボタンメニュー  の「コントローラーの設定」で省エネモードをOFFにしてください。

GamePadから音が出ない

音量が最小の状態になっていませんか？

GamePad上部にあるボリュームで音量を調整してください。

ヘッドホンを接続していませんか？

ヘッドホンを接続しているときは、スピーカーから音が出ません。

GamePadに接続したヘッドホンから音が出ない

音量が最小の状態になっていませんか？

GamePad上部にあるボリュームで音量を調整してください。

ヘッドホンのプラグはしっかり奥まで差し込まれていますか？

しっかり奥まで差し込んでください。

GamePadのマイクが使用できない／音声認識されない

マイク対応のソフトですか？また、マイクを使用する場面ですか？

マイクによる音声入力に対応したソフトまたは場面で、マイク機能が使用できます。

マイクは正しく動作していますか？

本体設定  の「Wii U GamePad」で、マイクが正しく動作しているか確認してください。

家族や友達など、ほかの人の声は認識されていますか？

音声の認識率は個人差があり、声質によっては認識されにくい場合があります。

マイクが勝手に反応する／ハウリング（※）が発生する

騒音のある場所で使用していたり、音量を大きくして使用していたりしませんか？

GamePadやテレビのスピーカーから出た音などに、マイクが反応している可能性があります。静かな環境を整えたり、スピーカーの音量を小さくしたり、ヘッドホンを使用したりしてください。

マイク付きのヘッドホンを使用していませんか？

ヘッドホンについているマイクがハウリングの原因になっている可能性があります。GamePadやテレビのスピーカーの音量を下げてください。

※ マイクの使用時に、スピーカーから出た音が再度マイクに入ってしまうことにより不快な騒音が生じる現象をハウリングといいます。

ゲームソフトやセーブデータについて

ゲームソフトで遊べない／セーブデータが表示されない

自分以外のユーザーで遊んでいませんか？

Wii Uソフトによっては、ユーザーごとにセーブデータを管理しているものがあります。そのため、ほかのユーザーでソフトをはじめると、自分のセーブデータが表示されない場合があります。

ユーザーを交代するには、Wii UメニューでユーザーのMiiをタッチして、「ユーザーを交代する」を選んでください。

ディスクは正しくセットされていますか？

ディスクのレーベル面(印刷面) が上向き(本体を縦置きしている場合は右向き) になっていることを確認してください。

ディスク(レーベル面の反対の面) が汚れていませんか？

汚れている場合は、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭いてください。

必要な周辺機器が接続されていますか？

ソフトの説明書をご覧ください、必要な周辺機器を接続してください。

日本国内向けのWii UディスクやWiiディスクを使用していますか？

ゲームキューブディスクや海外向けのWii Uディスク、Wiiディスクは使用できません。

ソフトがはじめられない（アイコンが表示されない）

データ管理でソフトを消去したり、本体の初期化を行いましたか？

Wii U本体購入後にダウンロードしたソフトは、ニンテンドーeショップ ◀ 12 または、Wiiメニュー ◀ 6 のWiiショッピングチャンネルから無料で再ダウンロードできます。

※ 配信を中止または終了したソフトは、再ダウンロードできないことがあります。あらかじめご了承ください。

ニンテンドーeショップなどでソフトを購入しましたか？

1ページ内に表示されるソフトアイコンは、Wii Uメニューは15個、Wiiメニューは12個です。ニンテンドーeショップでソフトを購入するなどしてソフトアイコンの数がそれ以上に増えると、2ページ目以降に追加されていきます。ページを移動するには、画面左右の矢印を選んでください。

ソフトをUSB記録メディアまたはSDカードに保存していませんか？

ソフトをUSB記録メディアに保存している場合は、Wii U本体にUSB記録メディアを接続してから、電源をONにしてください。

Wii専用ソフトをSDカードに保存している場合は、SDカードをWii U本体に差し込んだあと、SDカードメニューからソフトをはじめてください。くわしくは、Wii Wiiメニュー 電子説明書 ◀ 6 をご覧ください。

ソフトやセーブデータなどを整理（移動や消去）したい／本体保存メモリーの残りの容量が少ない

本体設定 ◀ 22 の「データ管理」で、セーブデータやダウンロードソフトなどの整理ができます。本体保存メモリーの空き容量が少なくなった場合は、不要なデータを消去するか、より容量の大きなUSB記録メディア ◀ 29 に移動してください。Wii専用ソフトは、SDカードに移動することができます。

4 パスワードについて

保護者による使用制限が解除できない

正しい暗証番号を入力していますか？

暗証番号を忘れた場合は、秘密の質問の回答を入力してください(→  Wii U取扱説明書「保護者による使用制限」)。

ニンテンドーネットワークIDやユーザーのパスワードを忘れてしまった

ユーザー選択画面  **23** で、ユーザーのニックネームやニンテンドーネットワークIDを確認することができます。
ユーザーのパスワードを忘れてしまった場合は、キーボードの右上に表示される「忘れた」ボタンをタッチしてください。登録されているメールアドレスに仮パスワードが送信されます。

5 機器のランプについて

操作をしていないのにHOMEボタンランプが光る

新しいお知らせが届いたり、フレンドがオンライン状態になったり、Wii U Chat  **15** で着信があったりすると、HOMEボタンランプが光ります。Ⓜを押して、画面に表示されるメッセージをご確認ください。

操作をしていないのにUSBハードディスクの電源ランプが光る

「電源OFF時の動作」  **22** を「使う」に設定している場合は、本体がデータのダウンロード/インストールを行うときにUSBハードディスクの電源が自動的にONになります。

※ このとき、本体の電源ランプはオレンジ色に点灯します。

「電源OFF時の動作」を「使う」に設定しても、本体の電源ランプがオレンジ色にならない

次のことを行くと、所定の時間が経過してもデータのダウンロード/インストールは行われません。

- ・ 本体の電源ボタンを4秒以上押して、電源をOFFにする。
- ・ 電源をOFFにしたあとに、ACアダプターを抜き差しする。

6 コントローラーの操作について

カーソルやキャラクターが勝手に動く

「ニュートラルポジション」の位置がずれていませんか？

GamePadの場合は📖 [Wii U取扱説明書](#)「コントローラーを補正する」を、その他のコントローラーの場合はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

Wiiリモコンが操作できない（正しく反応しない）

Wiiリモコンのプレイヤーインジケータは点灯していますか？

Wiiリモコンのいずれかのボタン（電源ボタンを除く）を押してください。

プレイヤーインジケータが点灯しない場合は、電池が正しくセットされているか確認してください。それでも点灯しない場合は、電池を2本とも新しいものに交換してください。

使用するWii U本体に、Wiiリモコンを登録していますか？

Wii U本体のシンクロボタンを押して、画面の案内に従って登録してください。

センサーバーとの距離が近すぎたり、離れすぎたりしていませんか？

センサーバーから1～3m（GamePadに向けて操作する場合は30cm～1m）の場所でプレイしてください。それでも安定しない場合は、本体設定  22 の「Wiiリモコンとセンサーバー」で感度調整をしてください。

センサーバーの前に障害物はありませんか？

Wiiリモコンとセンサーバーの間にある障害物を取り除いてください。

Wii U本体に接続しているセンサーバーは正しく設置されていますか？

センサーバーが正しく設置されているか確認してください（→  Wii U取扱説明書「センサーバーの設置」）。センサーバープラグはしっかり奥まで差し込んでください。

プレイする位置からセンサーバーの方向に、遮光していない窓、白熱灯、その他影響があるものはありますか？

次のような原因がないか確認してください。

- ・窓から直射日光が入っている

カーテンなどで遮光していない窓があると、直射日光の影響で正常に動作しないことがあります。カーテンを閉めてください。

- ・センサーバーが光沢のあるテーブルなどに映っている

映りこんだセンサーバーの影響で正常に動作しないことがあります。テーブルに布をかけるなどしてセンサーバーが映り込まないようにしてください。

- ・センサーバー付近に照明器具が見える

プレイ位置からセンサーバーを見たとき、付近に白熱球などの照明が見えると正常に動作しないことがあります。その場合はそのような照明を消してください。

- ・テレビの近くに光と熱を発する物がある

ハロゲンヒーターや石油ストーブ、ろうそくなどの光と熱を出す物は、センサーバーから離すか使用を中止してください。

Wiiリモコンをセンサーバーの方向に向けていますか？

Wiiリモコンはセンサーバーの前の面に向けて操作してください。

Wiiリモコンプラスを振っても反応しない

Wiiリモコンプラスを正しく持ってプレイしていますか？

ゲームの指示に従って、正しく持ってプレイしてください。

Wiiリモコンプラス（ポインター）の操作が安定しない

操作が安定しないのは、Wiiモーションプラス対応ソフトをプレイしているときですか？

Wiiモーションプラス対応ソフトのプレイ中に操作が不安定になったときは、ゲーム中にWiiリモコンプラスのⒶ側を下向きにして水平な場所（テーブルの上など）に数秒間置いてください。Wiiモーションプラスの機能が補正されます。

プレイする位置からセンサーバーの方向に、遮光していない窓、白熱灯、その他影響があるものはありませんか？

 Wii U取扱説明書「センサーバーの設置」に従って対処してください。

以上の点を確認しても正常に動作しない場合は、本体設定  の「Wiiリモコンとセンサーバー」で、ポインターの感度を調整してください。

画面上に点が3つ以上表示される、または、0～1しか表示されない場合は、光沢のあるテーブルなどにセンサーバーが映り込んでいる可能性があります。テーブルに布をかけるなどしてセンサーバーが映り込まないようにしてください。

Wiiリモコンプラスが振動しない

振動設定が「OFF」になっていませんか？

HOMEボタンメニュー  で振動設定を「ON」にしてください。

Wiiリモコンプラスのスピーカーから音が出ない

音量が0になっていませんか？

HOMEボタンメニュー  で音量を調整してください。

Wiiリモコンプラスの反応が遅い

テレビによっては、テレビに入力された信号はテレビ内で画像処理された後に表示され、その処理時間が遅延時間として発生します。使用中の本体やWiiリモコンプラス、テレビの故障ではありません。

その他

Wii U本体の電源をONにしたあとユーザーの選択ができない
／ユーザーの自動選択を解除したい

Wii Uメニュー  でユーザーのMiiをタッチし、ユーザーの自動選択を「しない」に設定してください。

時計が正常に動作しない

コイン形電池を交換してください(→ Wii U取扱説明書「電池を交換する/取り出す」)。

TVリモコン機能が操作できない(正しく反応しない)

TVリモコン機能の設定をしていますか？

本体設定  の「TVリモコン」で、必要な設定をしてください。

GamePadをテレビに向けて操作していますか？

GamePadの赤外線受発光部を、テレビの受光部に向けて操作してください。

GamePadとテレビの受光部との間に、障害物がありますか？

GamePadとテレビの受光部との間にある障害物を取り除いてください。

お使いのテレビが対応している信号タイプが設定されていますか？

GamePadに設定されている信号タイプが、お使いのテレビに対応していない可能性があります。本体設定  の「TVリモコン」で、ほかの信号タイプをお試しください。

※ ご使用になるテレビのメーカーや機種によって動作しない場

合があります。また、本体設定で設定したメーカーのテレビであっても、製造年や機種、受信する信号タイプ(リモコンコード)の設定によっては動作しないものや、一部のリモコン操作ができないものがあります。あらかじめご了承ください。

SDカードが認識されない(データが表示されない)

対応しているSDカードですか？

Wii U本体が対応しているのは、次のSDカードです。

- ・ SDメモリーカード(2GBまで)
- ・ SDHCメモリーカード(32GBまで)

※ 高速転送規格「UHS」やSDXCメモリーカードには対応していません。

SDカードが正しく差し込まれていますか？

SDカードを正しく差し込み直してください。



Wii Uのデータ(MiiスタジオのMiiのQRコードなど) が保存されているSDカードですか？

Wii Uのデータが保存されているSDカードを差し込んでください。

SDカードにWiiのソフトやセーブデータを保存している場合は、Wii Uへの引っ越し



そのSDカードに対応している別の機器(パソコンなど)では認識できますか？

認識できない場合は、SDカードが壊れている可能性があります。

認識できた場合は、データまたはWii U本体のSDカードスロットが壊れている可能性がありますので、任天堂サービスセンターにお問い合わせください(→ Wii U取扱説明書 裏表紙)。

NFC(近距離無線通信)対応製品が反応しない(読み込み／書き込みができない)

使用中のソフトは、NFCに対応していますか？

NFCに対応したソフトまたは場面で、NFC機能が使用できます。

指定されたNFC対応製品を使用していますか？

指定されたNFC対応製品を使用してください。

正しい位置に近づけていますか？

NFCエリアマーク()に近づけてください。

NFC対応製品に傷が付いていませんか？

傷が付いていると、読み込み／書き込みができない場合があります。

※ 仕様または外観の一部を予告なく変更することがあります。
ご了承ください。

■ Wii U本体

型名	WUP-001(01)/WUP-101(01)
使用電源	DC 15V 5.0A
無線周波数	2.4GHz帯(Wi-Fi/Bluetooth) 5.2GHz帯(GamePad接続用)
出力電力 (空中線電力)	約50mW(Wi-Fi) 約1mW(Bluetooth) 約20mW(GamePad接続用)
通信規格	802.11b/g/n Bluetooth Ver.4.0
消費電力	75W
前面入出力端子	SDカードスロット/USB端子×2(USB2.0準拠)
背面入出力端子	HDMI®端子/USB端子×2(USB2.0準拠)/ センサーバー接続端子/AVマルチ出力端子/ ACアダプター接続端子
AV出力解像度	480i/480p/720p/1080i/1080p
本体保存メモリー	WUP-001(01)：8GB WUP-101(01)：32GB ※ システム領域があるため、実際に使用できる容量は、上記より少なくなります。
使用温度範囲	10～40℃
使用湿度範囲	20～80%
寸法	縦46mm×横172mm×奥行き268.5mm (突起部を除く)
質量	約1.55kg
レーザー仕様	半導体レーザー
対物レンズ	樹脂レンズ Wii U：NA0.85(typ.) Wii：NA0.6(typ.)
対物レンズ出射光	Wii U：0.6mW(typ.) Wii：0.9mW(typ.)

レーザー波長	Wii U : 405nm(typ.) Wii : 660nm(typ.)
--------	--

■Wii U 本体ACアダプター

型名	WUP-002(JPN)
入力	AC100V 50/60Hz
出力	DC15V 5.0A
寸法	縦70mm×横150mm×厚さ49mm
質量	約570g

■HDMIケーブル

型名	WUP-008
質量	約74g

■ Wii U GamePad

型名	WUP-010(JPN)
液晶画面(画面サイズ/画素数)	タッチ入力機能付き液晶(約1677万色表示可能) 6.2型(横854ドット×縦480ドット)
使用電源	Wii U GamePad ACアダプター[WUP-011(JPN)]、Wii U GamePadバッテリーパック(1500mAh)[WUP-012]、Wii U GamePadバッテリーパック(2550mAh)[WUP-013]
無線周波数	5.2GHz帯(Wii U本体接続用) 13.56MHz帯(NFC)
通信規格	802.11n (Wii U本体接続用) ISO/IEC 14443 Type A/B (NFC) JIS X 6319-4 (NFC)
出力電力 (空中線電力)	約10mW(Wii U本体接続用)
推奨通信距離	20mm以内(NFC) 8m以内(Wii U本体接続用) ※ 電波干渉の原因となる機器や障害物がない場合
カメラ機能	レンズ：単焦点 撮像素子：CMOS 有効画素数：約30万画素
スピーカー	ステレオ(疑似サラウンド対応)
入出力端子	充電端子/ACアダプター接続端子/ヘッドホン接続端子(ステレオ出力)/外部拡張コネクター
センサー	加速度センサー/ジャイロセンサー/地磁気センサー
最大消費電力	約6.7W(充電時)
使用温度範囲	10～35℃

使用湿度範囲	20～80%
寸法	縦133.4mm×横255.4mm×厚さ41mm (突起部を除く)
質量	約500g(バッテリー、タッチペンを含む)
充電時間	約2.5時間
バッテリー持続時間	約3～5時間(時間はめやすです。画面の明るさや使用するソフト、周囲の温度など、使用状況によって変わります。)

■Wii U GamePad ACアダプター

型名	WUP-011(JPN)
入力	AC100V 50/60Hz
出力	DC4.75V 1.6A
寸法	縦35mm×横100mm×厚さ28mm
質量	約120g

■Wii U GamePadバッテリーパック(1500mAh)

型名	WUP-012
バッテリーの種類	リチウムイオン電池
電力容量	5.6Wh

■Wii U GamePadタッチペン

型名	WUP-015
寸法	縦5.4mm×横8.4mm×長さ97.9mm
質量	約2g

■Wii U GamePadプレイスタンド

型名	WUP-016
寸法	縦72.6mm×横97.2mm×高さ32.9mm
質量	約28g

■ Wii U本体縦置きスタンド

型名	WUP-009
寸法	縦15mm×横80mm×高さ27.4mm
質量	約11g

■ Wii U GamePad充電スタンド

型名	WUP-014
入出力	DC 4.75V 1.6A
寸法	縦85mm×横111.3mm×高さ41.1mm
質量	約80g

■ Wiiリモコンプラス

型名	RVL-036
使用電源	単3形アルカリ乾電池（LR6） 2本
無線周波数	2.4GHz帯
出力電力 （空中線電力）	約1mW
通信規格	Bluetooth Ver.1.2
消費電力	約200mW
外形寸法	横36.2mm×縦148mm×厚さ30.8mm
質量	約133g（ストラップ、Wiiリモコンジャ ケット付き、乾電池含まず）
電池持続時間	約25時間 （アルカリ乾電池で、Wiiモーションプラス に対応しているソフトを連続で遊んだ場合） ※ 電池持続時間は、使用するソフトや無線通信 の使用状況、周囲温度などの要因によっても 変わりますので、あくまでもめやすとしてく ださい。

■ Wiiリモコン専用ストラップ

型名	RVL-018A
材質	ABS（プラスチック部）・ポリエステル（ひも）
寸法	約240mm
質量	約3g

■ Wiiリモコンジャケット

型名	RVL-022
材質	シリコンゴム
寸法	横54mm×縦160mm×厚さ42mm
質量	約43g

本製品には、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備を搭載しています。

また、本製品は5GHz帯（W52; Ch36, Ch40, Ch44, Ch48）を使用しています。電波法の規制により、W52の帯域を利用した本製品の屋外使用は禁止されています。本製品は屋内のみご使用ください。



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

Wii U本体で対応しているWiiの周辺機器は、以下のとおりです。対応していない周辺機器を使用すると、Wii U本体の故障の原因となります。ご注意ください。

■ ソフトで利用できるもの(コントローラーなど)

製品名称	モデルナンバー
Wiiリモコン※	RVL-003
ヌンチャク	RVL-004
クラシックコントローラ	RVL-005
クラシックコントローラPRO	RVL-005(-02)
バランスWiiボード	RVL-021
Wiiモーションプラス	RVL-026
Wiiリモコンプラス※	RVL-036
Wiiザッパー	RVL-023
Wiiハンドル	RVL-024

※ Wiiリモコン専用ストラップ、Wiiリモコンジャケットを含む。

Wiiリモコンやクラシックコントローラ(クラシックコントローラPROを含む)は、Wii Uメニューからソフトをはじめたり、HOMEボタンメニューを表示させたりすることもできます。

■ Wii U本体で利用できるもの(ケーブルなど)

製品名称	モデルナンバー
Wii USBメモリー	RVL-035
SDメモリーカード 512MB	RVL-020
SDメモリーカード 2GB	RVL-033
SDHCメモリーカード 8GB	RVL-037
SDHCメモリーカード 16GB	RVL-038
Wii専用AVケーブル	RVL-009
Wii専用S端子ケーブル	RVL-010
Wii専用コンポーネントAVケーブル	RVL-011
Wii専用D端子AVケーブル	RVL-012
センサーバー	RVL-014
Wii LANアダプター	RVL-015
Wii専用センサーベースタンド	RVL-016
Wii専用クリーニングクロス	RVL-034
ニンテンドーWi-Fi ネットワークアダプタ	WAP-001(JPN)

Wii U本体やソフトで使用できないもの

製品名称	モデルナンバー
Wii専用ACアダプタ	RVL-002(JPN)
Wii本体専用スタンド	RVL-017
Wii本体専用スタンド補助プレート	RVL-019
Wii専用レンズクリーナー	RVL-030
レンズクリーナー専用クリーニング液	RVL-031
レンズクリーナー専用クリーニングシート	RVL-032
ニンテンドーWi-Fi USBコネクタ	NTR-010

※ Wii U本体に、ニンテンドー ゲームキューブの周辺機器(ニンテンドー ゲームキューブ コントローラなど)を接続することはできません。

重要

本品は著作権により保護されています。ソフトウェアや説明書の無断複製や無断配布は法律で厳重に禁じられています。違反は罰せられますのでご注意ください。なお、この警告は著作権法上認められている私的使用を目的とする行為を制限するものではありません。
法律で認められている場合を除き、商業的使用は禁止されています。

Wii Uのロゴ・Wii Uは任天堂の商標です。

©2014 Nintendo

意匠登録第1266882号、第1266883号、第1429489号、第1429490号、
第1432488号、第1432980号、第1436654号、第1441467号、第
1441468号、第1441469号、第1441790号、第1449475号

PAT. PEND.

The terms HDMI and HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC in the United States and other countries.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

本製品は、フォントワークス株式会社のフォントを使用しています。

本製品は、PUX株式会社の手書き文字認識エンジン” 楽ひら®” を使用しています。楽ひらはパナソニック株式会社の登録商標です。

本製品は、PUX株式会社のソフトウェアコーデックMediaArtist®を使用しています。

MediaArtist及びMediaArtistロゴはパナソニック株式会社の登録商標です。

当製品には、イーソル株式会社のFATファイルシステム「PrFILE®2」が搭載されています。

PrFILE はイーソル株式会社の登録商標です。

「QRコードリーダ」は株式会社アイエスピーと株式会社高度圧縮技術研究所のソフトウェアを利用しています。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

SDHCロゴはSD-3C, LLC.の商標です。

本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser NXを搭載しています。

ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。



©2015 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

Foxit PDF SDK Copyright ©2013, Foxit Corporation www.foxitsoftware.com, All rights reserved.

NetFront® Document Viewer PDF Edition

NetFront® Document Viewer



Designed with UEI Technology™

Under License from Universal Electronics Inc.

Portions © UEI 2000 - 2012



Vidyo's technologies are covered by one or more issued or pending United States patents, as more fully detailed on the Patent Notice page of Supplier's website <http://www.vidyo.com/about/patent-notice/>, as well as issued

and pending international patents. The VIDYO logotype is a registered trademark of Vidyo, Inc. in the United States and certain other countries, and is a trademark of Vidyo, Inc. throughout the world. VIDYO is a trademark of Vidyo, Inc. in the United States and throughout the world.

Powered by Vidyo

重要：Wii Uのセキュリティーと適切な機能を保証し、ご使用いただけ

るサービスの改善や、任天堂とソフトメーカーが保有する知的財産権を保護するために、お客様のWii U本体もしくはWii Uソフトウェアは自動的に更新されます。

本品には任天堂とソフトメーカーの知的財産権を保護するセキュリティが組み込まれています。Wii U本体もしくはソフトウェアの改造を可能とする、任天堂が承認していない装置やソフトウェアの動作は保証されません。任天堂が承認していない装置やソフトウェアの使用により、お客様のWii Uが動作しなくなるほか、任天堂が承認していない装置やソフトウェアを使用して作成されたコンテンツは、事前の告知や同意なく変更あるいは削除されます。

Wii Uに含まれるいかなるソフトウェア、および、それらソフトウェアのすべてのアップデート（併せて、「本件ソフトウェア」という）は、個人的かつ非営利の目的でのみご使用できます。本件ソフトウェアのその他の目的での使用は禁止されています。特に、任天堂の同意なく、本件ソフトウェアを貸与することや商業的に使用することは禁止されています。また、適用される法律で明示的に認められている場合を除き、本件ソフトウェアの一部でも複製等の著作権侵害に該当する行為や、リバースエンジニアリング等を行うことは禁止されています。

本品は日本国内専用です。日本国内のみでの販売および使用とし、日本仕様のWii UソフトおよびWiiソフトが使用可能です。

Miiに関する利用規約

Wii U本体・内蔵ソフトウェアで使用されているオープンソースソフトウェアに関する表記

Miiに関する利用規約

本規約は、任天堂株式会社（以下、「任天堂」といいます）が提供する『Mii』を作成するためのソフトウェア（以下、「Mii作成ソフト」といいます）および似顔絵キャラクター『Mii』の利用条件などについて定めたものです。

1. お客様は、本規約の遵守を条件として、Mii作成ソフトおよびMiiを利用または使用することができます。
2. Miiにかかる著作権（著作権法27条および28条に定める権利を含みます。）などの知的財産権その他一切の権利は、任天堂に帰属するものとします。
3. お客様は、任天堂および任天堂が指定する第三者が提供する機器・サービスにおいて利用または使用する場合、個人で楽しむなど法律で認められた場合、または任天堂が取扱説明書やホームページ上などにおいて別途認めた場合にのみ、Miiを利用または使用

することができます。

4. お客様は、以下に該当する行為または該当するおそれがある行為をしてはなりません。
 - ① Miiを営利目的で利用または使用する行為
 - ② Miiを営利目的を有する第三者（任天堂が指定する第三者を除きます）に提供し、利用または使用させる行為
 - ③ 他人の名誉・信用を毀損し、他人を侮辱し、または他人に不快感を与える行為
 - ④ 他人のプライバシー権、肖像権、パブリシティ権を侵害する行為
 - ⑤ 他人の著作権などの知的財産権およびその他一切の権利を侵害する行為
 - ⑥ 犯罪行為またはこれを助長する行為
 - ⑦ 公序良俗に反する行為
 - ⑧ その他任天堂が不適切と判断する行為
5. お客様によるMii作成ソフトおよびMiiの利用または使用に関して第三者とトラブルが生じた場合、当該トラブルは、お客様と第三者との間で解決するものとし、任天堂は、お客様に生じた損害について一切の責任を負いません。
6. 任天堂は、予告なく、本規約を変更することができるものとします。その場合、任天堂は変更後の本規約を任天堂のホームページ (<http://www.nintendo.co.jp/>) 上に掲載します。変更後の本規約は、任天堂が別途定める場合を除き、任天堂ホームページ上に掲載表示された時点より効力を生じるものとします。
7. ニンテンドーネットワークサービスをご利用いただくにあたっては、別途定めるニンテンドーネットワーク利用規約にご同意いただく必要があります。

Wii U本体・内蔵ソフトウェアで使用されているオープンソースソフトウェアに関する表記

■libjpeg

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

■libjpeg-turbo

Copyright (C)2009-2014 D. R. Commander. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the libjpeg-turbo Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS", AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■Mini-XML

The Wii U console contains a modified version of Mini-XML. The changes to Mini-XML are provided to you under the terms of the LGPL2 in sections 1, 2, and 4 below. To obtain the modified Mini-XML source code, please visit Nintendo's official website.

Mini-XML License

The Mini-XML library and included programs are provided under the terms of the GNU Library General Public License version 2 (LGPL2) with the following exceptions:

1. Static linking of applications to the Mini-XML library does

not constitute a derivative work and does not require the author to provide source code for the application, use the shared Mini-XML libraries, or link their applications against a user-supplied version of Mini-XML.

If you link the application to a modified version of Mini-XML, then the changes to Mini-XML must be provided under the terms of the LGPL2 in sections 1, 2, and 4.

2. You do not have to provide a copy of the Mini-XML license with programs that are linked to the Mini-XML library, nor do you have to identify the Mini-XML license in your program or documentation as required by section 6 of the LGPL2.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the library GPL. It is numbered 2 because it goes with version 2 of the ordinary GPL.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Library General Public License, applies to some specially designated Free Software Foundation software, and to any other libraries whose authors decide to use it. You can use it for your libraries, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether

gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link a program with the library, you must provide complete object files to the recipients so that they can relink them with the library, after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

Our method of protecting your rights has two steps: (1) copyright the library, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

Also, for each distributor's protection, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free library. If the library is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original version, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that companies distributing free software will individually obtain patent licenses, thus in effect transforming the program into proprietary software. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License, which was designed for utility programs. This license, the GNU Library General Public License, applies to certain designated libraries. This license is quite different from the ordinary one; be sure to read it in full, and don't assume that anything in it is the same as in the ordinary license.

The reason we have a separate public license for some libraries is that they blur the distinction we usually make between modifying or adding to a program and simply using it. Linking a program with a library, without changing the library, is in some sense simply using the library, and is analogous to running a utility program or application program. However, in a textual and legal sense, the linked executable is a combined work, a derivative of the original library, and the ordinary General Public License treats it as such.

Because of this blurred distinction, using the ordinary General Public License for libraries did not effectively promote software sharing, because most developers did not use the libraries. We

concluded that weaker conditions might promote sharing better.

However, unrestricted linking of non-free programs would deprive the users of those programs of all benefit from the free status of the libraries themselves. This Library General Public License is intended to permit developers of non-free programs to use free libraries, while preserving your freedom as a user of such programs to change the free libraries that are incorporated in them. (We have not seen how to achieve this as regards changes in header files, but we have achieved it as regards changes in the actual functions of the Library.) The hope is that this will lead to faster development of free libraries.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, while the latter only works together with the library.

Note that it is possible for a library to be covered by the ordinary General Public License rather than by this special one.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Library General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains,

plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access

to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also compile or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use

are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

c) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

d) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution

of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the

Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Library General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other

free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or,

alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the library's name and an idea of what it does.

Copyright (C) year name of author

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990 Ty Coon, President of Vice
That's all there is to it!

■libcurl

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2011, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

■STLport

Copyright 1999,2000 Boris Fomitchev

This material is provided "as is", with absolutely no warranty expressed or implied. Any use is at your own risk.

Permission to use or copy this software for any purpose is hereby granted without fee, provided the above notices are retained on all copies. Permission to modify the code and to distribute modified code is granted, provided the above notices are retained, and a notice that the code was modified is included with the above copyright notice.

The Licensee may distribute binaries compiled with STLport (whether original or modified) without any royalties or restrictions.

The Licensee may distribute original or modified STLport sources, provided that:

- The conditions indicated in the above permission notice are met;
- The following copyright notices are retained when present, and conditions provided in accompanying permission notices are met :

Copyright 1994 Hewlett-Packard Company

Copyright 1996,97 Silicon Graphics Computer Systems, Inc.

Copyright 1997 Moscow Center for SPARC Technology.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. Hewlett-Packard Company makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. Silicon Graphics makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. Moscow Center for SPARC Technology makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

■OpenBSD

Copyright (c) 1998 Todd C. Miller <Todd.Miller@courtesan.com>

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES

WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

■OpenSSL

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL. This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms

except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR

TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version orderivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

■Speex

Copyright 2002-2008 Xiph.org Foundation

Copyright 2002-2008 Jean-Marc Valin

Copyright 2005-2007 Analog Devices Inc.

Copyright 2005-2008 Commonwealth Scientific and Industrial Research

Organisation (CSIRO)

Copyright 1993, 2002, 2006 David Rowe

Copyright 2003 EpicGames

Copyright 1992-1994 Jutta Degener, Carsten Bormann

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN

NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■sbc

This software includes open source software distributed under the terms of the GNU Lesser General Public license 2.1 ("LGPL") and modified version of those (collectively "the OSS"). In compliance with the LGPL, the source code of the OSS is made available via the Nintendo official website.

Copyright (C) 2010 Keith Mok <ek9852@gmail.com>

Copyright (C) 2008-2010 Nokia Corporation

Copyright (C) 2004-2010 Marcel Holtmann <marcel@holtmann.org>

Copyright (C) 2004-2005 Henryk Ploetz <henryk@ploetzli.ch>

Copyright (C) 2005-2006 Brad Midgley bmidgley@xmission.com

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU

General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so

that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License").

Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without

limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General

Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant

if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the

modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do

these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to

satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the

Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF

THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE),
EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN
ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Software in this console includes open source software distributed under the terms of the GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE2.0 or the GNU Lesser General Public license 2.1 (collectively "LGPL") and modified version of those(collectively "the OSS"). In compliance with the LGPL, the source code of the OSS is made available via Nintendo official website.

■WebKit

Copyright © 2005, 2007, Google Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2011 Apple Inc. All rights reserved.

Copyright © 2010-2015 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Google Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF

SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright © 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Apple Inc. All rights reserved.

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version. This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Library General Public License along with this library; see the file COPYING.LIB. If not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Copyright © 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Apple Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE INC. AND ITS CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS

FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE INC. OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright © 1991 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the library GPL. It is numbered 2 because it goes with version 2 of the ordinary GPL.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Library General Public License, applies to some specially designated Free Software Foundation software, and to any other libraries whose authors decide to use it. You can use it for your libraries, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to

surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link a program with the library, you must provide complete object files to the recipients so that they can relink them with the library, after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

Our method of protecting your rights has two steps: (1) copyright the library, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

Also, for each distributor's protection, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free library. If the library is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original version, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that companies distributing free software will individually obtain patent licenses, thus in effect transforming the program into proprietary software. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License, which was designed for utility programs. This license, the GNU Library General Public License, applies to certain designated libraries. This license is quite different from the ordinary one; be sure to read it in full, and don't assume that anything in it is the same as in the ordinary license.

The reason we have a separate public license for some

libraries is that they blur the distinction we usually make between modifying or adding to a program and simply using it. Linking a program with a library, without changing the library, is in some sense simply using the library, and is analogous to running a utility program or application program. However, in a textual and legal sense, the linked executable is a combined work, a derivative of the original library, and the ordinary General Public License treats it as such.

Because of this blurred distinction, using the ordinary General Public License for libraries did not effectively promote software sharing, because most developers did not use the libraries. We concluded that weaker conditions might promote sharing better.

However, unrestricted linking of non-free programs would deprive the users of those programs of all benefit from the free status of the libraries themselves. This Library General Public License is intended to permit developers of non-free programs to use free libraries, while preserving your freedom as a user of such programs to change the free libraries that are incorporated in them. (We have not seen how to achieve this as regards changes in header files, but we have achieved it as regards changes in the actual functions of the Library.) The hope is that this will lead to faster development of free libraries.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, while the latter only works together with the library.

Note that it is possible for a library to be covered by the ordinary General Public License rather than by this special one.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the

terms of this Library General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in

exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also compile or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

c) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

d) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license

restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license

from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted

interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Library General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU.

SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but

WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Library General Public License along with this library; if not, write to the Free Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Copyright © 2006 Apple Computer, Inc.

Portions are Copyright © 2001-6 mozilla.org

Other contributors:

Stuart Parmenter <stuart@mozilla.com>

Copyright © 2007-2009 Torch Mobile, Inc.

Copyright (c) 2012-2014 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of either the Mozilla Public License Version 1.1, found at <http://www.mozilla.org/MPL/> (the "MPL") or the GNU General Public License Version 2.0, found at <http://www.fsf.org/copyleft/gpl.html> (the "GPL"), in which case the provisions of the MPL or the GPL are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of one of those two licenses (the MPL or the GPL) and not to allow others to use your version of this file under the LGPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the MPL or the GPL, as the case may be. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under any of the LGPL, the MPL or the GPL.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the

existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a

large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete

source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such

function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for

that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the

Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same

work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you

may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the

Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE),

EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright

disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

■libcurl

Copyright © 1996 - 2015, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

■libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c,list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright © 1998-2012 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ ICU

Copyright © 1995-2011 International Business Machines Corporation and others
All rights reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, provided that the above copyright notice(s) and this permission notice appear in all copies of the Software and that both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in supporting documentation.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND

NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

■Cairo

Cairo is free software and is available to be redistributed and/or modified under the terms of either the GNU Lesser General Public License (LGPL) version 2.1 or the Mozilla Public License (MPL) version 1.1 at your option.

Every source file in the implementation[*] of cairo is available to be redistributed and/or modified under the terms of either the GNU Lesser General Public License (LGPL) version 2.1 or the Mozilla Public License (MPL) version 1.1. Some files are available under more liberal terms, but we believe that in all cases, each file may be used under either the LGPL or the MPL.

See the following files in this directory for the precise terms and conditions of either license:

COPYING-LGPL-2.1

COPYING-MPL-1.1

Please see each file in the implementation for copyright and licensing information, (in the opening comment of each file).

[*] The implementation of cairo is contained entirely within the "src" directory of the cairo source distribution. There are other components of the cairo source distribution (such as the "test", "util", and "perf") that are auxiliary to the library itself. None of the source code in these directories contributes to a build of the cairo library itself, (libcairo.so or cairo.dll or similar).

These auxiliary components are also free software, but may be under different license terms than cairo itself. For example, most of the test cases in the perf and test directories are made available under an MIT license to simplify any use of this code for reference purposes in using cairo itself. Other files might be available under the GNU General Public License (GPL), for example. Again, please see the COPYING file under each directory and the opening comment of each file for copyright and licensing information.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1335 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or

using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND
MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License").

Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately

publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the

distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third

parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's

own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you

have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on

consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE,

THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1335 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

MOZILLA PUBLIC LICENSE Version 1.1

1. Definitions.

1.0.1. "Commercial Use" means distribution or otherwise making the Covered Code available to a third party.

1.1. "Contributor" means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.2. "Contributor Version" means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular Contributor.

1.3. "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.

1.4. "Electronic Distribution Mechanism" means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.

1.5. "Executable" means Covered Code in any form other than Source Code.

1.6. "Initial Developer" means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.

1.7. "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.8. "License" means this document.

1.8.1. "Licensable" means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.

1.9. "Modifications" means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:

A. Any addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.

B. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.

1.10. "Original Code" means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice

required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.

1.10.1. "Patent Claims" means any patent claim(s), now owned or hereafter acquired, including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by grantor.

1.11. "Source Code" means the preferred form of the Covered Code for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an Executable, or source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

1.12. "You" (or "Your") means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1. For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Source Code License.

2.1. The Initial Developer Grant.

The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Initial Developer to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patents Claims infringed by the making, using or

selling of Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code (or portions thereof).

(c) the licenses granted in this Section 2.1(a) and (b) are effective on the date Initial Developer first distributes Original Code under the terms of this License.

(d) Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted: 1) for code that You delete from the Original Code; 2) separate from the Original Code; or 3) for infringements caused by: i) the modification of the Original Code or ii) the combination of the Original Code with other software or devices.

2.2. Contributor Grant.

Subject to third party intellectual property claims, each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Contributor, to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patent Claims infringed by the making, using, or selling of Modifications made by that Contributor either alone and/or in combination with its Contributor Version (or portions of such combination), to make, use, sell, offer for sale, have made, and/or otherwise dispose of: 1) Modifications made by that Contributor (or portions thereof); and 2) the combination of Modifications made by that Contributor with its Contributor Version (or portions of such combination).

(c) the licenses granted in Sections 2.2(a) and 2.2(b) are effective on the date Contributor first makes Commercial Use of the Covered Code.

(d) Notwithstanding Section 2.2(b) above, no patent license is granted: 1) for any code that Contributor has deleted from the Contributor Version; 2) separate from the Contributor Version; 3) for infringements caused by: i) third party modifications of Contributor Version or ii) the combination of

Modifications made by that Contributor with other software (except as part of the Contributor Version) or other devices; or 4) under Patent Claims infringed by Covered Code in the absence of Modifications made by that Contributor.

3. Distribution Obligations.

3.1. Application of License.

The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You may not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

3.2. Availability of Source Code.

Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

3.3. Description of Modifications.

You must cause all Covered Code to which You contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the

origin or ownership of the Covered Code.

3.4. Intellectual Property Matters

(a) Third Party Claims.

If Contributor has knowledge that a license under a third party's intellectual property rights is required to exercise the rights granted by such Contributor under Sections 2.1 or 2.2, Contributor must include a text file with the Source Code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If Contributor obtains such knowledge after the Modification is made available as described in Section 3.2, Contributor shall promptly modify the LEGAL file in all copies Contributor makes available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

(b) Contributor APIs.

If Contributor's Modifications include an application programming interface and Contributor has knowledge of patent licenses which are reasonably necessary to implement that API, Contributor must also include this information in the LEGAL file.

(c) Representations.

Contributor represents that, except as disclosed pursuant to Section 3.4(a) above, Contributor believes that Contributor's Modifications are Contributor's original creation(s) and/or Contributor has sufficient rights to grant the rights conveyed by this License.

3.5. Required Notices.

You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code. If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then You must include such notice in a location (such as a relevant directory) where a user would be likely to look for such a notice. If You created one or more Modification(s) You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A. You must also duplicate this License in any documentation for the Source Code where You describe recipients' rights or ownership rights relating to Covered Code. You may choose to

offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear that any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

3.6. Distribution of Executable Versions.

You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Section 3.1-3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section 3.2. The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code or ownership rights under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License. If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

3.7. Larger Works.

You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation.

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Code due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be included in the LEGAL file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A and to related Covered Code.

6. Versions of the License.

6.1. New Versions.

Netscape Communications Corporation ("Netscape") may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

6.2. Effect of New Versions.

Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Netscape. No one other than Netscape has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

6.3. Derivative Works.

If You create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), You must (a) rename Your license so that the phrases "Mozilla", "MOZILLAPL", "MOZPL", "Netscape", "MPL", "NPL" or any confusingly similar phrase do not appear in your license (except to note that your license differs from this License) and (b) otherwise make it clear that Your version of the license contains terms which differ from the Mozilla Public License and Netscape Public License. (Filling in the name of the Initial

Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

7. DISCLAIMER OF WARRANTY.

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABLE, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

8. TERMINATION.

8.1. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

8.2. If You initiate litigation by asserting a patent infringement claim (excluding declaratory judgment actions) against Initial Developer or a Contributor (the Initial Developer or Contributor against whom You file such action is referred to as "Participant") alleging that:

(a) such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then any and all rights granted by such Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 of this License shall, upon 60 days notice from Participant terminate prospectively, unless if within 60 days after receipt of notice You either: (i) agree in writing to pay Participant a mutually agreeable reasonable royalty for Your past and future use of Modifications made by such Participant, or (ii) withdraw Your litigation claim with respect to the Contributor Version against

such Participant. If within 60 days of notice, a reasonable royalty and payment arrangement are not mutually agreed upon in writing by the parties or the litigation claim is not withdrawn, the rights granted by Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 automatically terminate at the expiration of the 60 day notice period specified above.

(b) any software, hardware, or device, other than such Participant's Contributor Version, directly or indirectly infringes any patent, then any rights granted to You by such Participant under Sections 2.1(b) and 2.2(b) are revoked effective as of the date You first made, used, sold, distributed, or had made, Modifications made by that Participant.

8.3. If You assert a patent infringement claim against Participant alleging that such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent where such claim is resolved (such as by license or settlement) prior to the initiation of patent infringement litigation, then the reasonable value of the licenses granted by such Participant under Sections 2.1 or 2.2 shall be taken into account in determining the amount or value of any payment or license.

8.4. In the event of termination under Sections 8.1 or 8.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or any distributor hereunder prior to termination shall survive termination.

9. LIMITATION OF LIABILITY.

UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL YOU, THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO ANY PERSON FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S

NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

10. U.S. GOVERNMENT END USERS.

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

11. MISCELLANEOUS.

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by California law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions. With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in the United States of America, any litigation relating to this License shall be subject to the jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California, with venue lying in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys' fees and expenses. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

12. RESPONSIBILITY FOR CLAIMS.

As between Initial Developer and the Contributors, each party is responsible for claims and damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License and You agree to work with Initial Developer and Contributors to distribute such responsibility on an equitable basis. Nothing herein is intended or shall be deemed to constitute any

admission of liability.

13. MULTIPLE-LICENSED CODE.

Initial Developer may designate portions of the Covered Code as "Multiple-Licensed". "Multiple-Licensed" means that the Initial Developer permits you to utilize portions of the Covered Code under Your choice of the NPL or the alternative licenses, if any, specified by the Initial Developer in the file described in Exhibit A.

EXHIBIT A -Mozilla Public License.

The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is _____.

The Initial Developer of the Original Code is _____.

Portions created by _____ are Copyright © _____.

_____. All Rights Reserved.

Contributor(s): _____.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the _____ license (the "[] License"), in which case the provisions of [] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [] License and not to allow others to use your version of this file under the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the [] License. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the MPL or the [] License."

[NOTE: The text of this Exhibit A may differ slightly from the

text of the notices in the Source Code files of the Original Code. You should use the text of this Exhibit A rather than the text found in the Original Code Source Code for Your Modifications.]

■Pixman

Copyright 1987, 1988, 1989, 1998 The Open Group

Copyright 1987, 1988, 1989 Digital Equipment Corporation

Copyright 1999, 2004, 2008 Keith Packard

Copyright 2000 SuSE, Inc.

Copyright 2000 Keith Packard, member of The XFree86 Project, Inc.

Copyright 2004, 2005, 2007, 2008, 2009, 2010 Red Hat, Inc.

Copyright 2004 Nicholas Miell

Copyright 2005 Lars Knoll & Zack Rusin, Trolltech

Copyright 2005 Trolltech AS

Copyright 2007 Luca Barbato

Copyright 2008 Aaron Plattner, NVIDIA Corporation

Copyright 2008 Rodrigo Kumpera

Copyright 2008 André Tupinambá

Copyright 2008 Mozilla Corporation

Copyright 2008 Frederic Plourde

Copyright 2009, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Copyright 2009, 2010 Nokia Corporation

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice (including the next paragraph) shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES

OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

*/

■Unicode

This product includes modified work of Unicode Character Databases listed below.

-BidiMirroring.txt

-CaseFolding.txt

-LineBreak.txt

-UnicodeData.txt

UNICODE, INC. LICENSE AGREEMENT - DATA FILES AND SOFTWARE

Unicode Data Files include all data files under the directories <http://www.unicode.org/Public/>, <http://www.unicode.org/reports/>, and <http://www.unicode.org/cldr/data/>. Unicode Data Files do not include PDF online code charts under the directory <http://www.unicode.org/Public/>. Software includes any source code published in the Unicode Standard or under the directories <http://www.unicode.org/Public/>, <http://www.unicode.org/reports/>, and <http://www.unicode.org/cldr/data/>.

NOTICE TO USER: Carefully read the following legal agreement. BY DOWNLOADING, INSTALLING, COPYING OR OTHERWISE USING UNICODE INC.'S DATA FILES ("DATA FILES"), AND/OR SOFTWARE ("SOFTWARE"), YOU UNEQUIVOCALLY ACCEPT, AND AGREE TO BE BOUND BY, ALL OF THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT. IF YOU DO NOT AGREE, DO NOT DOWNLOAD, INSTALL, COPY, DISTRIBUTE OR USE THE DATA FILES OR SOFTWARE.

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright © 1991-2011 Unicode, Inc. All rights reserved. Distributed under the Terms of Use in <http://www.unicode.org/copyright.html>.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit

persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that (a) the above copyright notice(s) and this permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, (b) both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in associated documentation, and (c) there is clear notice in each modified Data File or in the Software as well as in the documentation associated with the Data File(s) or Software that the data or software has been modified.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

Unicode and the Unicode logo are trademarks of Unicode, Inc. in the United States and other countries. All third party trademarks referenced herein are the property of their respective owners

■Android related

Copyright © 2005-2011 The Android Open Source Project
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

Copyright © 1998-2009 PacketVideo

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

Copyright © 2007-2009 The Khronos Group Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008)

Copyright © [dates of first publication] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/

or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to <http://oss.sgi.com/projects/FreeB/> shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc

■Public Suffix List

This product contains unmodified source code used under the terms of the Mozilla Public License (<http://mozilla.org/MPL/>). You may download the source code used in the product from <http://publicsuffix.org>.

■Anti-Grain Geometry

The Anti-Grain Geometry Project

A high quality rendering engine for C++

<http://antigrain.com>

Anti-Grain Geometry - Version 2.3

Copyright © 2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies. This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

■Little CMS

Little CMS

Copyright © 1998-2010 Marti Maria Saguer

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■libtiff

Copyright © 1988-1997 Sam Leffler

Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

■FDLIBM

Copyright © 2004 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

■libzip

Copyright (C) 1999-2014 Dieter Baron and Thomas Klausner

The authors can be contacted at libzip@nih.at

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN

CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.